



天満宮

題字／後西天皇御宸筆

特集

◆ 天神さまと私

映画監督 原田真人さん

◆ 北野祭 令和の再興にむけて 八月三日～十月五日

◆ ようこそ 修学旅行の聖地 北野天満宮へ

北野祭

令和の再興に向けて

奉祝

天皇陛下御即位



日本文化の中心地 京都

その文化の礎を築いた天神信仰発祥の社

北野天満宮の由緒

当宮は御祭神に菅原道真公（菅公）をお祀りした全国天満宮・天神社一万二千社の宗祀（総本社）の神社です。

天神信仰発祥の社として今から千年余り前の村上天皇天曆元年（九四七）六月九日、御神託により平安京の天門にあたる北野に御鎮座致しました。天徳三年（九五九）右大臣藤原師輔卿が御社殿を造営、一條天皇により北野祭は官祭に与り、「北野天満大自在天神」の神号を賜り、さらに皇室・朝廷の崇敬を受け二十二社に加えられ、臣下として初めて官幣中社に列格、皇城鎮護の神として崇められるとともに、天満宮・天神社の総本社として崇敬されてきました。

創建以来、皇室との御縁深く、寛弘元年（一〇〇四）には一條天皇がはじめて北野社に行幸されました。以来歴代天皇の行幸も二十数度に亘り、さらに將軍家や有力大名の崇敬を受けました。菅公薨去延喜三年（九〇三）より凡そ百年の歳月をかけて誕生した北野の天神信仰は、平安京の天門にあつて、朝野を問わず人々の暮らしの最も重要な指針となり今日まで育まれてきたのです。

「文道大祖 風月本主」と崇められた菅公は、和魂漢才の精神で誠の心を以って学問に勤しまれたことから、学問をはじめ芸能・農耕・厄除け・至誠・冤罪を晴らす神として奉祀されるとともに、人々の心の支えとなる神として、各時代の社会構造と相まって篤い崇敬をうけ、庶民に至るまで「天神様」として親しまれてきました。菅公は、学者・政治家また詩人・教育者として多方面に活躍され、生涯一貫された「誠の心」は、日本人の感性として現在にも生き続けています。

千有余年に亘る歴史の中で受け継がれてきた天神信仰の根本を示すのが、当宮所蔵の国宝「北野天神縁起絵巻」承久本です。数ある縁起絵巻の中で唯一無二の神社絵巻物であり、その信仰性や描かれる世界観、美術的価値は世界が認めるところであります。

また現在の御社殿は、豊臣秀吉公の遺命により豊臣秀頼公が片桐且元を奉行として、慶長十二年（一六〇七）に造営された一大建築群です。御本殿は八棟造と称され、国宝の指定を受ける桃山文化の代表的建築です。その絢爛豪華さは謂うまでもありませんが、特に多数の桃山建築の中でその創建当時の規模そのままに保存されているのは当宮が唯一のもので、後世の権現造の原型となるなど、神社建築史に多大な影響を与えています。

菅公の御神霊を祀る北野天満宮は、御墓所・太宰府天満宮と共に全国天満宮の宗祀と称され、日本文化の礎、学問の神様として今日も多くの参詣者が訪れています。



京都 平安京の天門

【シンボルマーク】

平安京の天門に位置する北極星を星梅鉢と鳥居（北野）で捉えたマーク。北野は千二百年に亘り、国都として文化を育んだ平安京にて、天の神々の出入口「天門」に菅原大神が奉祀された聖地です。爾来、北野の地より全国に天神様の御神威が益々昂揚していきました。

表紙写真 — 京の夏の風物詩 大福梅土用干し —

暑さも極まる夏空の下、境内約千五百本の梅の木から採取し塩漬けにした梅の実を、神職・巫女総出で天日干しにする。御神前で干し上げ、天神様の恩頼を十分に包蔵したこの梅干しは、再び塩漬けにし、裏白を添え奉書紙で包み、十二月十三日の事始めから「大福梅」として授与を開始する。梅とゆかりの深い当宮ならではの縁起物として親しまれている。



御挨拶 奉祝 天皇陛下御即位

北野祭 令和の再興に向けて



北野の神輿 村上天皇御寄進の第一鳳輦（中央）と一條天皇御寄進の葱華輦（右側）

先ずは謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げます。
畏くも皇太子徳仁親王殿下におかせられましたは、去る五月一日に第一二六代天皇に踐祚あそばされましたこと、誠に慶賀の至りであり謹んでお慶び申し上げる次第でございます。
秋には御大典の諸儀式が古式ゆかしく厳肅に執り行われる予定です。我国悠久の歴史と伝統に則り、万事恙なく執り行われます事を、国民齊しく衷心よりご祈念申し上げます。次第でございます。

さて、新たな御代を迎えた本年、当宮ではこれまで八月四日に執り行っておりました例祭を旧曆に復し、九月四日に祭礼日を改め齋行することになりました。
例祭は、永延元年（九八七）、時の一條天皇が臣下である管公を奉祀する北野社に勅使を差遣され、勅祭として「北野祭」を齋行したのを始まりとする当宮第一の祭礼であります。以後、一條天皇は寛弘元年（一〇〇四）に当社に行幸遊ばされ、これを嚆矢として歴代天皇の行幸は二十数度に及んだのであります。

朝廷の篤い崇敬の下に執行された北野祭は、その後室町幕府主導の祭礼となり、わけても三代將軍足利義満公の絶大な支援を得て最盛期を迎えるに至ります。しかし都の大部分を戦火に巻き込んだ応仁・文明の乱により神輿焼失等の被害を受け断絶、幕末に孝明天皇が臨時祭として行われた以外は齋行記録が残っておりません。明治以降の北野祭は「例祭」と名を改め、御本殿にて神事のみが齋行されてきました。

当時の北野社創建過程や天神信仰の由来を説く「北野天神縁起」は多くの絵巻として伝播され、その巻末には北野祭礼が描かれたものも存在し、そこには二基の神輿を中心とした華麗な渡御列と、行列に供奉する八乙女稚児や諸芸能民、祭礼行列に感嘆する民衆が描かれ、北野祭の盛大さを伝えていきます。北野の神輿は「莊嚴」と呼ばれる他に類を見ない豪華な織物による装飾品で覆われ、神輿を担ぐのは禁裏駕輿丁と呼ばれる宮中所属の輿舁だけに許された特権であったことも、まさに北野祭の格式の高さと権威を現していると言えるでしょう。京都における織物業の発展や技術の向上にも大きく寄与した北野の神輿は、現在に続く西陣織の基礎を築いたものと言えるのです。（二頁～五頁、十四頁～十五頁参照）

来る令和九年（二〇二七）に齋行する管公千百二十五年半萬燈祭に向け、旧儀の復興と文化の発信を進める中で、この北野祭礼の再興が中核であることは言うまでもありません。往時の北野祭を重んじつつ、この例祭を中心とした夏秋の一連神事が、新しい姿の北野祭として発展出来ますよう、氏子崇敬者各位のご理解とご協力を以て、万事執り進めて参る所存でございます。今後とも御祭神の御神徳宣揚と、千有余年に亘り培われてきた天神信仰発揚に職員一丸となり取り組んで参りますので、皆様には何卒倍旧のご協力をお願い申し上げます。

北野天満宮

宮司 橘 重十九



北野祭 令和の再興に向けて

例祭（大祭）を中心に、御手洗祭から瑞饋祭まで続く一連の祭礼

かつての北野祭とは、神事と華麗な渡御列からなる京都随一の祭

当宮で最も重要とされた、かつての勅祭「北野祭」は、朝廷の篤い崇敬のもとに執り行われた。室町時代には幕府主導の祭礼に与り、なかでも三代將軍足利義満公の絶大な庇護を受けて北野祭は最盛期を迎える。

北野祭の次第を記録した史料には、御本殿内陣に奉安された神輿を境内に引き出し、様々な神賑行事の後、御旅所へと神幸する流れが記されている。

前述の通り、当宮御創建に至る由緒や天神信仰の由来を説いた「北野天神縁起絵巻」

には、往時の荘厳な北野祭礼の様子を描くものが遺っており、そこに描かれるのは、二基の神輿を中心に様々な所役が供奉する大規模な渡御列や、様々な芸能・神賑行事の様子で、かつての北野祭が如何に壮麗に催されていたかが伺える貴重な資料である。

二基の神輿は、他に類を見ない織物による装飾品で覆われ、絢爛豪華な鍔金具が随所に施される、まさに「荘厳」と呼ぶに



北野祭の賑わいを伝える「北野天神縁起絵巻」神奈川県立歴史博物館蔵



往時の北野祭を描いた絵巻のひとつ「北野祭礼図絵巻」北野天満宮蔵

〔祭礼期間〕 八月三日～十月五日

御手洗祭前々夕饗
八月六日午後四時 齋行

御手洗祭齋行に先立ち、御神前を祓い清め、菅公御遺愛の松風の硯、角盥、水差しを祓い、翌日の御手洗祭執行を御祭神に御奉告申し上げる祭典。

御手洗祭
八月七日午前十時 齋行

北野では古来、御手洗祭を七夕信仰になぞられた星祭の意味だけでなく、初秋にあたる四季祭の一つと数え、祓の神事と位置づけてきた。前日に祓い清めた御神具と梶の葉、季節の野菜等を御神前に献上するこの祭は、かつて角盥の上で梶の葉に水差しの清水をかけることで「禊」の姿を表し、北野祭執行に先立つ「禊祓の御祭」として齋行されてきた歴史ある祭典である。

例祭（大祭）
九月四日午前十時 齋行

永延元年（九八七）、一條天皇が初めて北野祭を勅祭として齋行された由縁による一年で最も重要な祭典。当宮に伝来する「北野祭礼図絵巻」には、勅使を迎えて齋行される荘厳かつ絢爛豪華な神輿渡御列をはじめ御神楽や稚児行列など様々な神事が盛大かつ厳粛に執行される様子が描かれている。

相応しい姿であった。

北野祭は、北野天神への朝廷や時の為政者の崇敬と、雅な平安王朝文化を現す京の都随一の祭であったのである。

一連の祭礼

往時の北野祭は、厳肅な神事と神輿を中心にした華麗な渡御列、それに従う八乙女や諸芸能民などの多彩な神賑行事からなる祭礼と伝えられている。



水差し

菅公御遺愛の松風の硯

その祭礼期間は、八月七日の御手洗祭（北野御手水神事）による祓の神事を始まりとし、清められた心身によって、北野祭本祭と渡御を奉仕するまでと認識されていた。

つまり、かつて「北野祭」と称するは、単に御本殿での祭典だけを指すのではなく、御手洗祭から、北野祭本祭を奉仕するまでのおよそ一か月間にわたる「一連の祭礼」を意味していたのである。



御手洗祭で用いられる金蔦絵の角盥と梶の葉

令和の御代に蘇らせる北野祭

当宮では、来る令和九年の菅公千二百五十五年半萬燈祭に向けて、天神信仰の更なる発揚を目指し、この北野祭再興に取り組んでいる。

学術的研究を進めながら歴史と伝統を重んじた意匠を解明し、天神信仰の尊厳に相応しい祭として、「令和」の御代に蘇らせた。



かつての北野祭の祭列を現代に伝える瑞饋祭

十月一日〜十月五日



村上天皇御寄進 第一鳳輦とずいき御輿

現在は京都の代表的な秋祭として知られる瑞饋祭。菅公が大宰府で彫られた木像を随行の西ノ京の神人が持ち帰りお祀りし、秋の収穫時に野菜や穀物をお供え

したのが始まりとも伝わる。

今では十月一日の神幸祭、四日の還幸祭に村上天皇御寄進の第一鳳輦や一條天皇御寄進の葱華輦などを含む渡御列が氏子区域を巡行する。

かつて勅祭として斎行された北野祭

は、幾多の戦乱

や時流の変遷を経て、現在は例

祭と瑞饋祭のふ

たつの祭礼に分

かれた形で引き

継がれている

が、この瑞饋祭

は往時の北野祭

の祭列を今に伝

えている。



稚児行列（還幸祭）

令和元年を迎えて

北野天満宮と萬葉集

令和の世を迎えるにあたり、当宮においても五月一日午前十時より踐祚改元奉告祭を斎行した。新しき御代を寿ぐ人々が境内に集うなか、新天皇の御即位と改元を御祭神に御奉告し、皇室の弥栄と令和の御代のますますの繁栄と安寧をお祈り申し上げた。

周知の通り、新元号「令和」の典拠となった『萬葉集』の一節、「初春令月 氣淑風和 梅披鏡前之粉 蘭薫珮後之香」(初春の令月にして、氣淑く風和らぎ、梅は鏡前の粉を披ぎ、蘭は珮後の香を薫らす)は、大宰府長官であった大伴旅人の邸宅で行われた宴で詠まれた三十二首の梅花の歌の序文として付されたもの。当



図1 萬葉集(安永本)江戸時代

宮にも安永年間の版本が伝わる(図1)。

当宮は梅の名所として名高く、御祭神菅原道真公(菅公)の母君は萬葉集の選者とされる大伴家持と同じく大伴氏の出身。境内には伴氏社が祀られるなど縁が深い。また菅公は萬葉仮名による和歌に、七言絶句の漢詩訳を付した『新撰萬葉集』を編纂しており、一説には、萬葉集の成立に菅公が何らかの役割を果たしたのではないかとする学説もとнаえられている。

改元を迎えた五月一日の境内は終日賑わいを見せ、「神事が行われ、人々が集う」という古来より神社が担ってきた役割が、現代においてもさして変わっていないことが垣間見られた一日であった。

北野祭神輿再興

新しい御代「令和」を迎えるにあたり、当宮では新たに北野祭神輿を再興することを決定した。これは、八年後に行われる半萬燈祭に向け、境内整備・旧儀の復興を行ってきた流れを一層加速させ、在りし日の勅祭北野祭の姿を現代に蘇らせようとするものである。神輿はいまでもなく祭列の中心を担うものであり、歴史考証を重ね慎重を期しつつ、現代における再興の意味を問いながら進めている。



図2 「北野祭礼図繪巻」 神輿は前頁に掲載

北野祭神輿の姿は、在りし日の北野祭の莊嚴な姿を描いたものとして当宮に伝わる「北野祭礼図繪巻」等に見ることが出来る(図2)。鳳凰をいたたく莊嚴な神輿は、古くより織物の一大産地であった西陣に隣接する北野ならではの、絢爛な絹織物により覆われていたと伝わる。

古様を物語る 神輿古金具発見

当宮ではこのほど、大変古い神輿金具が発見された(図3)。これは、詳細は不明ながら当宮の校倉に伝わってきたもの。先だって京都文化博物館で行われた「北野天満宮信仰と名宝展」を契機に、金工の専門家である久保智康氏(京都国立博物館名誉館員)よりご指摘を受け、改めて調査いただいたところ、形状や装飾の様子から、制作が中世に遡るものも含まれていることが分かった。

宝相華文様があしらわれた横長の板金具はいずれもその寸法から、当宮の失われた六角形もしくは八角形の神輿の装飾として使われていたものである可能性が高い。神輿の装飾が、宝相華から蓮華に主体が移行する中世にあって古様を残すも



図2 部分

令和の世に 北野祭神輿

奉祝 天皇陛下御即位

再興にむけて 発進！

北野文化研究所 室長 松原 史



図4 蝶金具

のであり、表現や技法に新古の差を認めるものの、いずれも鎌倉〜室町時代前期の制作とみなされる。驚くべきことに玉のビーズによる繊細な装飾部分も残っており、丁寧に取っていたことが分かる。北野の祭りならではではの三年に一度神輿の修繕を大々的に行う「三年一請会」という儀礼により、比較的早い時期に神輿より取り外されたがゆえに、この美しい状態が保存されたと考えるのが妥当であろう。玉の先には蝶をあら



図3 神輿古金具 (しんよこかなぐ)

わす三角形の金具も取り付けられている。これらの金具に相当するものは、現在当宮に伝わる二基の神輿にはなく、失われた北野の神輿が六角形もしくは八角形であり、銅金具や玉で彩られていたことを証言していると考えることができ

古様をあらわす蝶

玉の先にあしらわれた蝶飾りに加え、残された二匹の蝶(図4)。これらの発見は大変重要な意味を持つ。蝶は古来より神を守るものと考えられてきた。神輿の様式が定型化する近世には、この蝶を飾りとする習慣はあまり見られないことから、「神輿(神)を守る蝶金具」は古様をあらわすものであるといえる。またこの蝶飾りの裏には、鍛造をした打痕が残っており、「銅板」が流通する以前に、銅の塊より鍛造によって作られていたことが示される。



たは七曜の星を形作っていると思われる整痕も確認できる。平安京の天門に位置し、三光門に代表されるように星(北極星と北斗七星)の信仰をつかさどってきた当宮にこの文様のある蝶が伝わる意味を改めて問うていきたい。

神輿再興に向けて

この度の神輿再興にあたり、この神輿古金具の発見は、大変重要な意味を持っている。というのも、現代において往時の北野祭を知るよすがとなる「北野祭礼図絵巻」は、実際には北野祭が応仁の乱により途絶したのち、数々の口伝などをもとに描かれたものであり、歴史資料であると同時に「理想の姿」を描いたものでもあるといえるからである。

翻ってこの古金具は、北野祭が途絶した応仁の乱以前の神輿から取り外され、守り伝えられてきたものであり、在りし日の神輿の姿を現代に伝える示唆に富んだものであるといえる。こうした手掛かりを元に、さまざまな専門家の方々のご意見も参考にしつつ、北野祭の荘厳と権威、賑わいをこの令和の世に蘇らせていきたい。

【主要参考文献】

中西進『万葉集形成の研究』講談社一九九五年
久保智康『鰐淵八幡神社伝来の沃懸地螺鈿金銅装神輿―制作の時期と工人組織をめぐって―』
『和歌山県立博物館研究紀要』二〇〇一年



映画監督 原田真人さん



原田真人（はらだまさと）氏略歴

映画監督 脚本家。一九四九年、静岡県沼津市生まれ。黒澤明、ハワード・ホークスといった巨匠を師と仰ぐ。一九七九年、自身のオリジナル脚本を映画化した『さらば映画の友よ』で監督デビュー。『KAMIKAZE TAXI』（一九九五）は、フランス・ヴァレンシエンヌ冒険映画祭で准グランプリ及び監督賞を受賞。社会派エンターテインメントの『金融腐食列島 呪縛』（一九九九）、『クライムズ・ハイ』（二〇〇七）から、『モントリオール世界映画祭で審査員特別グランプリを受賞した』が母の記（二〇一二）や、『モンテカルロTV映画祭最優秀監督賞 国際エミール賞の最終候補となった』『初秋』（二〇一二）など小津安二郎作品に深く影響された家族ドラマまで、作品の幅は広い。『ラストサムライ』（二〇〇三）で、俳優としてハリウッドデビュー。初時代劇『駆込み女と駆出し男』と初の戦争映画『日本のいちばん長い日』（二〇一五年）度作品。二〇一七年夏には、二十五年間企画を暖めて来た大作『関ヶ原』が公開され、その宣伝キャンペーンを縫ってクライム・スリラー『検察側の罪人』（二〇一八年八月公開）を撮影した。作品は常に世界を視野に見据え二〇一六年にはメキシコのグアナフアト国際映画祭、二〇一七年にはハワイ国際映画祭、二〇一八年にはニューヨーク・アジア映画祭で生涯功労賞に輝いている。二〇一九年二月から四月にかけては十代からの愛読書『燃えよ剣』（司馬遼太郎原作）を映画化。この作品によって日本史に於ける三大変革期（二六〇〇年の関ヶ原、一八六八年の明治維新、一九四五年の終戦）の映画化を成し遂げた。

今号は、東宝配給の映画『燃えよ剣』（司馬遼太郎原作）の撮影を終えられた日本を代表する映画監督の一人、原田真人さんをお迎えし、橋宮司と松吉彌宜を交えての対談を掲載する。
(構成・編集部)

— 北野は映画発祥の地

宮司 『燃えよ剣』の撮影中には、主演の岡田准一さんらキャストを始めスタッフ・関係者のみなさん総勢約百人ともども昇殿参拝されました。『日本のいちばん長い日』（二〇一五年）、『関ヶ原』（二〇一七年）に続いて三度目の昇殿参拝です。まず当宮とのご縁についてお訊ねします。

原田 アメリカ映画のロケハンで神社と武徳殿が必要となり、日本でも有数の美術監督である映像京都の西岡善信さんの案内で来たのが最初です。一九八〇年頃だったと思います。この映画は実現しませんでした。僕の頭には武徳殿と川が印象に残っています。

宮司 私が宮司になる前ですが、元々、武徳殿は大正二年（一九一五）、大正天皇御大典を記念し、「大日本武徳会京都支部武徳殿」として、北野天満宮前に建立された建物でした。諸般の事情により、現在は天台宗青蓮院門跡が京都東山山頂に「青龍殿」として移築再建し、その姿を今に伝えています。天神さんは文武両道の信仰がありますので、北野で武徳殿が見れなくなってしまうことは残念でなりません。

原田 京都で初めて時代劇の『駆け込み女と駆け出し男』（二〇一五年）を撮った時に、そのことが頭にあつたので、天満宮の神職さんに松竹撮影所内の小さな祠で御祈祷して頂きました。その時に北野辺りが映画の発祥地だと伺いました。

宮司 そうなんです。日本映画の生みの親といわれるマキノ省三さんが、この近くに住んでおられ、劇場が千本通にあつて、私が天満宮に奉職した頃も、みなさん、”映画発祥の地だ”と誇らしげに仰っていました。天満宮界隈でも盛んに撮影をしたようです。撮影所の本拠が太秦に移り、映画村もできて隆盛を誇っていましたが、このところ少し勢いが衰えていただけに監督が立て続けに時代劇の大作を作られ、喜んでいきます。

— 日本の三大変革期を捉えた映画、すべてに北野天満宮にて昇殿参拝

原田 『日本のいちばん長い日』『関ヶ原』『燃えよ剣』ですけれど、ハーバード大学の日本史教室の教授などによると、日本の三大変革期を捉えた映画だそうです。時代順に言いますと、一六〇〇年、一八六八年、一九四五年、製作の順番は乱れましたが、日本の歴史の三大変革期をカバー出来たと思っています。その三作品のすべて北野天満宮で御祈祷して頂いたわけです。京都の北野の地で、非常に清々しい思いが出来、すごくご縁があると感じています。『燃えよ剣』の主人公、新選組副長の土方歳三は、武州多摩郡の日野村（現



絵馬所に残る「誠」一文字の額



映画『燃えよ剣』原田監督ほか出演者・スタッフが成功祈願に参拝（平成31年2月5日）

東京都多摩市)の出身です。薬屋であり、バラガキ(乱暴者の隠語で子どもの頃のあだ名)だった土方は剣を習い、出張稽古のようなことをしてゐるんです。当時武州には甲源一刀流とか柳剛流とか三つの流派が入り乱れており、恐らく神社の境内などで試合をやったのだろうなあと思っ、脚本を書く時、その辺りの道筋をたどっているのと北野村という村に行き当たり、そこに神社がありましたので、よし、ここから始めようとイメージを膨らませましたよ。

宮司 北野村の神社ですか、奇遇ですね。それに今、仰られた甲源一刀流という流派、当宮で毎秋行なわれる古武術の奉納に出できます。幕末期、当宮に参籠した紀州藩士が天神真楊流という柔術を編み出したことになむ古武術奉納の行事です。

原田 甲源一刀流は土方とは敵対する流派なんです。「燃えよ剣」の最終日の撮影を北野天満宮でさせて頂き、初めと終わりが北野がらみということ何かすごい縁を感じてゐるんですよ。

宮司 絵馬所には新選組の隊旗の元字になったといわれている「誠」の額があります。確証はありませんが、みなさん、そう仰つてよく見に来られます。

原田 恐らく会津の松平容保公が初めて京都へ来た時、やはり天満宮にもお参りしたと思います。その時にこの額をご覧になって会津藩預かりの壬生浪士隊、つまり新選組を立ち上げられた時に「誠」の発想を渡したのではないかという感じがします。ですから、映画の中でも「誠」の隊旗はオリジナルなものに近い形で使わせて頂きました。ただ、通俗的に映画では隊士はだんだら模様様の隊服を着ていますが、あれは事実と異なるのでやめました。

宮司 農兵で組織された山国勤王隊は、天満宮に石燈籠を奉納して戊辰戦争に参戦したことはよく知られていますが、幕末から維新にかけて天満宮には、朝廷方、幕府方問わず国家安寧、あるいは武運長久を願つて参拝し、石燈籠類を奉納しています。あの幕末動乱の時代、たとえ敵味方別れても帝に対して刃を向ける者はいなかった。そこが日本の深さだと感じています。

原田 孝明帝の一番信頼を得ていたのが会津公であり、会津公もその意向を非常に大切にされていた方でしたから、もし孝明帝が急死をされなければ官軍になった可能性もあり、また、徳川慶喜公が保身のため江戸に逃げ帰つたりしなければ鳥羽伏見の戦いの展開も変わったのでは…と、様々考えさせられます。そうした中で一番わかりやすいのが土方歳三の生き方です。一貫して筋を通し、函館で戦死しますが、変革期にどう生きたか、今の時代、そのぶれない生き方に魅力を感じます。もし、彼が戦死をせずに生きたならば、明治新政府は彼を処刑したのだろうかとかとすごく興味を持っています。

——『燃えよ剣』の見どころは、変革期に生きた人間の生きざまと同志愛

宮司 では『燃えよ剣』の見どころは、その土方歳三の生きざまですね。

原田 そうです。それと土方と沖田総司・近藤勇・井上源三郎の同志愛です。土方は岡田准一さんですが、彼は完全に本人になり切つて演じています。身体能力が高いし頭もいい。殺陣も自分で工夫してやり、他の役者の指導までしてくれました。すごいです。撮影にはセットも一部使いましたが、京都などの名刹を使わせて頂きました。各俳優ともみんなベストで演じており、手前味噌ながらこれまでにない新選組の映画だと思つていきますのでぜひご覧になって下さい。

宮司 来年五月末の公開を待ち遠しく思います。さて、当宮は学問の神・芸能の神として知られていますが、先ほどから申している通り武道の神としても崇敬されており、重文類のものも含め九十振ぐらいの刀剣が奉納



映画にかける情熱、天神さんへの信仰を語る



御本殿西側に建つ山国隊奉納の石燈籠

され、宝物殿で開く「宝刀展」は、刀剣女子ブームもあっていつも大変な賑わいを見せています。ともかく若い女性が食い入るように見ており、驚きます。

原田 『燃えよ剣』でも、殺陣の場面ではさすがに使っていませんが、役者の目の前で真剣を使っている場面があります。霊気というか、迫力が違います。リアリティーがあります。今の若い世代にも刀剣に対する種信仰めいたものがあるのかもしれない。

宮司 監督は映画評論・字幕翻訳・さらには俳優まで多彩な活動をされていますが、映画に目覚められたのはいつ頃からですか。

原田 僕の生まれた静岡県沼津市の映画館で五歳の時、『山河遙かなり』（フレッド・ジンネマン監督）を見て魅せられ、西部劇や戦争映画などアメリカ映画の世界に浸りました。もちろん、日本の時代劇もよく見ました。実家の旅館に泊まれた大映のカメラマン助手の方と親しくなり、その方の家が太秦にあったので、小学生の頃京都へ行くと泊めてもらい、東映や大映、松竹の撮影所に行つて大川橋蔵さんや勝新太郎さんを見て、胸をワクワクさせました。僕にとつても京都は映画のメッカであり、そこで映画を撮ることは第二の故郷に戻つてきたような気がします。オーディションを受けてアメリカ映画の『ラストサムライ』に俳優として出たのは、トム・クルーズと共演したかつたし、向こうの撮影の仕方が学びたかつたからです。少し恥ずかしかつたですが、一所懸命演じましたし、監督をする上でも大変勉強になりました。

宮司 七月で七十歳になられるというのに次々大作を撮られる、その活力には感心します。エネルギーの源は何でしょうか。また、今後、お撮りになりたいテーマは？

原田 今の時代、年齢は七掛けであり、僕はこれから五十代に入つていくつもりです。ましてや好きな世界であり歳は感じません。映画の現場では年齢よりも技術ですから。また、ストレスを受ける助監督の経験がないことや二十代前半でアメリカに渡りましたので、ロサンゼルス陽気な風土が根底にあるのかもしれない。メジャーリーグのドジャースが好きなので、今後アメリカを舞台にした野球映画を撮りたいし、西部劇で育つたのでいつかその世界を継承する映画や二世部隊の戦争映画も撮りたい。…などなど考えていたら九十歳ぐらいまで活動しなければならぬと思つています。

宮司 すごいエネルギーだと思います。子ども時代からの夢を実現され、なおかつ澁刺と仕事をされている監督から、当宮に参拝する多くの子どもたちに何かメッセージをお願いします。

原田 今はネット社会で情報が氾濫しています。ネットを使って全部自分がコントロールできるような錯覚に陥りがちです。自分が一番だとお山の大将になつては駄目です。やはり尊敬できる先達、先輩なりの水先案内人を見つけ、そこから自分の道筋を見つけていくことが大事だと思います。

—— 和魂洋才を目指しており、もつと知りたい菅公のこと

宮司 最後に菅公について何か一言あれば。

原田 和魂洋才の言葉は、道真公の和魂漢才の精神から出てきたと伺っています。僕は和魂洋才を目指していますので、今回もこうして天満宮に寄せてもらつていると、その元となる和魂漢才の道真公のことがもつと知りたくなつてきました。調べて映画に出来ないか、という思いさえしています。怨霊譚などは残された者の罪悪感が強かつた、それだけ偉大な人であつたわけで、理不尽な放逐のされ方をしています。ドラマになる要素は十分にあります。僕はその当時の歴史には疎いのでまだ勉強しなければわかりませんが、ちよつと聞きかじつただけでも、すごい宝があるような気がします。何か導かれているような気さえしています。

宮司 監督にそのように言つて頂き、大変有り難く思います。本日はお忙しい中、本当に有難うございました。

「自然の中に神々の働きを感じた日本人の心を見つめ直す」

当宮で第二十二回鎮守の杜フェスタ開催 御社殿に見入り史跡御土居の美堪能、「一万本植樹運動推進」などの宣言を採択



第22回 鎮守の杜フェスタ開催

「第二十二回鎮守の杜フェスタ」は京都府神社庁（田中恒清庁長）主催Ⅱが六月八日、当宮で開催され、約二百五十人の参加者が境内を散策、国宝の御本殿を始めとする御社殿に見入り、青もみじが美しい史跡御土居の自然美に浸った。そして最後に「杜の文化の継承のため一万本植樹運動を推進する」ことなどを骨子とした「ふるさとの杜づくり宣言」を採択した。

この鎮守の杜フェスタは、「自然の中に神々の働きを感じた日本人の心を見つめ直す」ことを願い毎年一回場所を変えて開かれており、当宮での開催は初めて。

文道会館横の茶店前広場で開会式が行われ、府神社庁の林秀俊副庁長と橘宮司が「日本人は自然の中に神を感じてきた。自然豊かな鎮守の杜を守っていこう」と挨拶した。

この後、会館内で神原禰宜より当宮を紹介する講演が行われた。平安京の天門に位置する場に建つ当宮と星との関係、一條天皇の行幸、勅祭北野祭のこと、北野文庫に所蔵される七万冊の本のこと、菅公作の「心だに誠の道にかなひなば……」の御歌の真意などについて、スライドを使いながら幅広い観点から神社の説明を行った。

講演会の後、参加者は三班に分かれ当宮神職らの案内で境内を巡り、御社殿の説明に聞き入り、豊かな自然が残っている史跡御土居の青もみじの美しさを堪能した。この間、子どもたちは、指導員の手ほどきで駒まわしや野遊びに興じた。

閉会式では、田中庁長が「このフェスタも二十二回を数えた。今年も苗木（榊か椿の常緑樹）を皆さんにお配りするので、家庭で、また知り合いに渡して頂き、せひ緑を育ててほしい」と挨拶。参加者を代表して中村陽君（十一歳）が「ふるさとの杜づくり宣言」を元気に読みあげ、全員の拍手で採択した。



講座「北野天満宮について」



神社探訪 史跡御土居青もみじ苑を歩く



杜の贈呈式



野遊び教室

《ふるさとの杜づくり宣言》

- 今日、ここ緑深き北野天満宮の杜に集ったわたしたちは、共生と癒しの原点である杜の文化の継承のために、次の宣言を採択します。
- 1、わたしたちは、ふるさとの杜づくりのために一万本植樹運動を推進します。
 - 2、わたしたちは、生きとし生けるものすべての命を大切に共生の喜びを多くの人々に伝えます。
 - 3、わたしたちは、自然に関するあらゆる問題に関心を持ち、環境保全のために自らができることを自らが見つけ実践します。

令和元年六月八日

第二十二回鎮守の杜フェスタ参加者一同

優雅に華やかに上京区一四〇周年を祝う
当宮で「日本の奇跡 上京大文化祭」開く
伝統の技や食・茶会・御所文化の数々も披露



武者小路千家お点前による大茶会



現代の技展会場（文道会館地下）

上京区誕生百四十周年を記念する「日本の奇跡 上京大文化祭」が、四月二十七、二十八の両日に亘り、当宮を舞台に開催された。伝統に裏打ちされた織物や茶碗などの現代作品の展示、食の提供、大茶会の開催、さらには披講・蹴鞠・雅楽といった現代に受け継がれている御所文化の再現など数々の催しが行われ、訪れた人々を魅了した。

平安京以来の歴史を誇る上京区には、珠玉の御所文化や茶道を始めとする伝統文化、西陣織を中心とした伝統産業など歴史に育まれた質の高い文化が息づき、それを継承する家々や担い手の作家・職人が今に残っている。それは日本の歴史文化の宝であり、まさに奇跡であるという強い思いにより、上京区誕生百四十周年の記念事業として上京区文化振興会（冷泉貴実子会長）が、文化庁地域文化創生本部の協力を得て開いた。

◎上京の奇跡「現代の技展」開催

珠玉の上京文化を披露

文道会館地下一階で両日に亘り開かれた「現在の技展」では、十五代樂吉左衛門氏の黒樂や赤樂の茶碗、羽田登氏の手描き友禅の訪問着、十三代中村宗哲氏の茶器・香合を始め西陣織の帯や墨絵・写真・書など、現代作家の作品がずらりと展示され、上京の奥行の深さを感じさせる美術展となり、来館者の目を引きつけた。

また、今回の展示には当宮より宝物として昭和十四年の余香祭の折、当宮境内で行われた蹴鞠に使われた鞠（鞠師坂井喜三郎氏作）も展示した。

余香祭は十月二十九日、菅公が宮中の重陽の宴で詩を詠まれ、帝より御衣を賜ったことを、大宰府で追想して作詩された故事に由来する神事。

平安王朝の雅な文化が栄えた御代において、時代を代表す



披講（冷泉家時雨亭文庫）



現代の技展会場



当宮に奉納された鞠
(昭和14年)



蹴鞠 (蹴鞠保存会)



る貴族・文化人であった菅公のご活躍と往時を偲び、古くは祭典後に境内で蹴鞠が奉納されていたことを今に伝える一品である。

◎北野の大茶会

二十七日、紅梅殿前船出の庭で武者小路千家の縣釜により「北野の大茶会」が行われた。古く天正十五年(一五八七)かの天下人豊臣秀吉公によって、千利休ら天下の茶人が参加して行われた「北野大茶湯」ゆかりの境内で多くの人たちが優雅に一服を楽しんだ。

◎伝統の技を食す「上京の料理店」

二十七、二十八の両日にわたり文道会館周辺の庭に、おかもと紅梅庵・大市・天岳・西陣魚新・畑かく・萬亀楼・萬重の七店が出店、この催しでしか食べられない限定メニューを提供した。両日とも開店一時間足らずで売り切れ、札止めとなる人気ぶりだった。

◎花舞台「今に伝わる御所文化」

二十八日、紅梅殿や船出の庭で行われた花舞台「今に伝わる御所文化」は、神若会北野天神太鼓会の和太鼓演奏で幕開け。冷泉会長が「明治になって天皇さんを始め多くの公家衆が去ったが、今も上京には平安の雅を伝える宮廷文化が残っている。存分にそれを楽しんで頂きたい」と挨拶された。

まず庭で鞠水干・葛袴姿の蹴鞠保存会の八人の会員が「アリ」「オー」「ヨー」の掛け声で、鹿の革で造った鞠を蹴り、受ける見事な技を披露し、拍手を浴びた。見物の参拝者も会員の指導で蹴鞠に挑戦する一幕もあった。

次に殿上で、冷泉家時雨亭文庫の男女七人が菅公の御歌五首を冷泉流によって朗々と披露。衣紋道研究会京都支部のみなさんによる束帯と十二単の着付けが解説つきで行われ、いちひめ雅楽会による雅楽の演奏で締めくくった。

◎磯田道史氏の記念講演

二十八日、上七軒歌舞練場において、歴史家の磯田道史氏が超満員の聴衆を前に『上京区で日本史を語る』と題し講演した。



磯田道史氏による記念講演
「上京区で日本史を語る」



衣紋 (衣紋道研究会京都支部)



雅楽 (いちひめ雅楽会)



花舞台のオープニングを飾る神若会北野天神太鼓会



上京の老舗料理店が一堂に会した料理コーナー



スーパーカー集結、交通安全願い 文道会館ではクルマ文化論議



上七軒通を巡行(交通安全パレード)

「牛」のエンブレムで知られるイタリア製のランボルギーニを始めフェラーリやポルシェなどのスーパーカー三十数台が五月十九日、当宮に集結、各車のオーナーが御本殿に昇殿参拝し、交通安全を祈願した。

天神さまのお使いが「牛」であることからランボルギーニを始めとするクラシックカー&スーパーカー愛好会(西川淳代表)が催したもので、今年で四年目。オーナーが昇殿参拝している間、駐車場は、スーパーカーの展示場のような様相となり、写真撮影する参拝者が相次いだ。

午後からは文道会館で、西川氏、清水焼陶芸家の川尻潤氏、京都大学工学部物理工学科非常勤講師の湯川伸次郎氏の三人がクルマ文化について論議、多くの人が耳を傾けた。

この後、東門前で神若会北野天神太鼓会が威勢よく太鼓を演奏し、上京署の白バイの先導によって御前通などでスーパーカーが連なつての交通安全パレードを行った。



パレードを見ようと沿道には多くの地域の方々



上京警察署による交通安全啓発活動



神若会北野天神太鼓会による和太鼓奉納

北野祭保存会・北野神輿会

今年も京丹後市大宮町で田植え 京都産業大学下出ゼミ生も初参加



御田植祭齋行

応仁の乱で途絶えた「北野祭」の再興に向けて様々な取り組みを行っている北野祭保存会・北野神輿会(井上経和会長)は、今年も四月二十一日、京丹後市大宮町の田んぼで会員及び京都産業大学下出祐太郎ゼミ生ら約四十人の参加のもと田植えを行った。

同会では秋の瑞饋祭に奉仕する際、「宮弁当」を調製して奉仕者らに振る舞っているが、一昨年からこの弁当に用いる米も自分らの手で作ろうと、かつて大嘗祭の主基の齋田だった大宮町の皆さんの協力を得て田植え・稲刈りを行っている。京都産業大学の下出ゼミ生は、瑞饋祭に奉仕するなどして当宮の祭礼に関わってきており、今年、田植えへの初参加となった。

ご縁のある大宮賣神社(島谷泰夫宮司)に正式参拝。田んぼの傍らで齋行された御田植祭に臨んだ後、会員や学生らは田んぼの中に入って丁寧に苗をさして田植えを行った。田植えの後、近くの施設で大宮賣神社神輿奉賛会のみなさんと、秋の稲刈り(抜穂祭)を始め今後の取り組みなどについて話し合い親交を深めた。井上会長は「今年は大宮賣神社のすぐ近くの田んぼでお田植えを盛大にすることが出来たし、地元の方たちとも一層緊密な交流が図れた」と話されていた。

大宮賣神社は、周枳神社の別名がある古社で、当宮にも末社として周枳社が祀られている。また、かつて大嘗祭の主基地方に選定された同地と、当宮を流れる紙屋川で大嘗祭に先立つ祓の儀式(荒見川祓)が行なわれていた北野の地とは深い御神縁がある。



田植えの様子

文道会館で英語・中国語・日本語対応のお点前 外国人観光客らに京都の文化力を発信



講師 グルース濱名宗整氏

国内外の観光客に茶道を体感してもらうことによって京都の文化力を発信しようとして、五月二十三日から二十六日まで文道会館で「京都文化力国際交流茶会」が開かれた。裏千家の茶道講師らが英語・中国語・日本語で茶道の心やお点前について解説し、外国人観光客を始め日本人の参拝者らが神秘的な表情で一服を味わった。

東京オリンピック・パラピック

リンピックの開催に向け、日本の文化力を国内外に発信するため京都府や京都市、京都商工会議所ほかオール京都で文化祭典を開催しようと組織する「京都文化力プロジェクト実行委員会」の主催。今回は、二〇一九年度のリーディング事業である「くらしの文化」の中から茶道をテーマとしており、この茶会は年度初回の事業。

グルース濱名宗整氏とリ・テイ氏が隔日で講師となり、日本語をはじめ英語や中国語で茶道の歴史や心について話し、お点前の実演の解説を行った。聴講した日本人や外国人の観光客らは、京菓子（きょうかし）を頂き、抹茶を味わった。

会場の一角では一日三回、上七軒の老舗和菓子屋「老松」の職人による京菓子の製作実演もあり、多くの人が京菓子の造られていく過程に見入っていた。



講師 リ・テイ氏



老松の菓子職人による菓子作りの実演

北野祭保存会・北野神輿会の総会



北野祭保存会・北野神輿会（井上経和会長）の総会並びに懇親会が六月十六日、社務所大広間に会員ら約七十人が参加して開かれた。神原禰宜、井上会長の挨拶に引き続き、京都文化博物館の西山剛学芸員が「北野祭の魅力」と題してスライドを使いながら講演。「北野祭は、格式と美意識を兼ね備えた勅祭だった」と最近の研究成果を踏まえ話し、会員らは熱心に聴き入った。

この後の懇親会では、来賓の大宮賣神社の島谷泰夫宮司が同神社と当宮との関係を話された。

中でも大宮賣神社（別名周枳神社）と当宮末社周枳社との御神縁やお田植え儀式の模様などをスライドを使って説明された。

「ものづくりTenmangu」開催 二日間で三百の手づくり市のブース並ぶ

「第一回ものづくりTenmangu」が四月六日、七日の両日、中ノ森広場で開催され、二日間で約三百の手づくり市のブースが並んで賑わった。この催しは、各所で手づくり市を開いている「ものづくりCrossroad」（山中陽太代表）が、「伝統文化が根付く当宮でも様々な文化、ものづくりが交わる場を」と初めて開催した。

全国から集まったという手づくり市は、アクセサリー・布や革の小物・木工品・陶器・花や紙の雑貨などのブースや焼き菓子・パン・和菓子・ジャムなどの食べ物ブースがずらり。毎月二十五日に表参道に並ぶ天神さんの縁日露店とは少し異なる手づくり感溢れる市に子ども連れの参拝者らが次々足を止めていた。

二日間とも三回にわたりプロのミュージシャンによる音楽ライブも行われ、手づくり市を盛り上げた。



北野祭祭典と神賑行事の紹介

【祭礼期間】 八月三日(土) — 十月五日(土)

八月

北野七夕祭オープニング 御手洗川渡始式

開催日 〓 八月三日(土)

開催時間 (予定)

行列出発 〓 十八時十五分

開会式 〓 十八時半

御手洗川渡始式 〓 十九時

御手洗祭前夕饗

祭礼日 〓 八月六日(火)

時間 〓 十六時

御手洗祭

祭礼日 〓 八月七日(水)

時間 〓 十時



境内夜間特別参拝と史跡御土居のライトアップ

開催日 〓 八月十日(土)・十一日(日・祝)・十二日(月・振替)

十六日(金)・十七日(土)・十八日(日) 計六日間

開催時間 〓 日没 〓 二十時三十分(終了)



期間中は特別に境内夜間参拝と史跡御土居のライトアップを実施します。七夕笹で飾られた境内一円をライトアップの光が照らし、幻想的な雰囲気演出。七夕の夕べを盛り上げます。

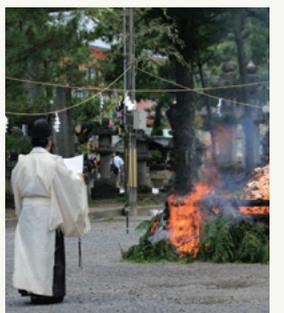
祈願絵馬・七夕祈禱木焼納式 〓 天神さまに願ひよ届け

開催日 〓 八月十二日(月・振替)

開催時間 〓 十時

開催場所 〓 駐車場中ノ森

七夕期間中、皆様に記入戴いた七夕祈禱木をお焚き上げ致します。皆さまの夏休みの願い事が天神さまに届くように祈念します。



学業大祭(学業成就・入試合格祈願祭)

開催日 〓 八月十二日(月・振替)

開催時間 〓 十一時 〓 十一時半

開催場所 〓 御本殿

夏休みで勉学に励むお子様たちに、国宝御本殿に昇殿頂き、入試合格・学業成就祈願と日々の健康を祈願します。



御手洗団子発祥の北野 北野御手洗団子茶屋

開催日 〓 八月十六日(金) 〓 十八日(日)

開催時間 〓 十六時 〓 二十時(終了)

開催場所 〓 絵馬所前

上七軒花街が五つ団子の紋章を用いるのは、名物御手洗団子に由来するものであり、北野御手洗神事にあわせ「北野御手洗団子茶屋」として往時の茶店を復元し、上七軒の芸舞妓さんが御手洗団子を振る舞います。

第五回 北野天神泣き相撲

開催日 〓 八月三十一日(土)

開催時間 〓 十時 〓 正午頃

開催場所 〓 文道会館

文武両道の天神様に子供の健全な育成と健康安全を祈願する「北野天神泣き相撲」を開催します。



第二回ものづくりTennangu

開催日 〓 八月三十一日(土)・九月一日(日)

開催時間 〓 十時 〓 十六時

開催場所 〓 駐車場 馬場 一带

布小物・木工品・革小物・陶器・絵画等様々な手作り雑貨店や食べ物コーナーが軒を連ねる手づくり市を開催します。



平安京ゆかりの清め神事 — 御手洗足つけ燈明神事 —

開催日 〓 八月十日(土)・十一日(日・祝)・十二日(月・振替)
 十六日(金)・十七日(土)・十八日(日) 計六日間
 開催時間 〓 九時〜二十時(受付終了)

平安京ゆかりの清め神事「北野御手洗水神事」として、五色のろうそくに七夕の願いを込めて、足つけ燈明神事を行います。境内を流れる清らかな御手洗川で邪気を祓い、心身ともに清々しく夏を過ごすための清め神事です。



境内

国宝 御本殿特別参拜

— 御本殿石の間通り抜け神事 御神宝・御装束の展覧 —
 開催日 〓 八月十六日(金)・十七日(土)・十八日(日) 計三日間
 開催時間 〓 十六時〜二十時(受付終了)

古式ならい、国宝御本殿に納まる御神宝・御装束の虫干しに併せて公開し、御本殿を特別参拝頂きます。また豊臣家や徳川家など御名家より奉納された燈籠も公開。千有余年に亘る天神信仰発祥の所以がここにあります。



境内

七夕五色百人一首 北野天満宮大会

開催日 〓 八月十日(土)
 開催時間 〓 十時〜正午頃
 開催場所 〓 社務所大広間

学問・文化芸能の神さまである菅公にあやかり伝統の百人一首大会を開催。参加の子供たちの健やかなる成育と技芸の上達、日本文化の発展を祈願します。



境内

天神さん子ども将棋交流大会

開催日 〓 八月十一日(日・祝)
 開催時間 〓 十時〜十六時頃
 開催場所 〓 文道会館

日本の伝統文化への関心を高め、子供達の将来に向けて健全育成に寄与するため、「学問の神様」北野天満宮において、将棋交流大会を開催します。



境内

上七軒七夕盆踊り

開催日 〓 八月十一日(日・祝)
 開催時間 〓 十六時〜

北野天満宮のお膝元、花街・上七軒で毎年行われる盆踊りは、地域住民が参加しての盛大な夏の行事です。



境内



七夕特別奉納行事〜迫力のパフォーマンスを披露〜

同志社女子大学 京炎!そでふれ花風姿 演舞奉納 境内
 開催日 〓 八月三日(土) 開催時間 〓 十八時半
 日本伝統芸能 猿まわし

開催日 〓 八月十日(土)〜十二日(月・振替)
 開催時間 〓 九時〜日没
 神若会北野天神太鼓会 和太鼓奉納
 開催日 〓 八月十一日(日・祝) 開催時間 〓 十三時

境内



境内

九月

例祭(大祭)

祭礼日 〓 九月四日(水)
 時間 〓 十時

十月

瑞饋祭

祭礼日 〓 十月二日(火)〜五日(土)



境内

十月一日 神幸祭

四日	還幸祭	午前十時	出御祭 御旅所
五日	午後一時	行列出発	
二日	午前十時	着御祭 御旅所	
三日	午後三時	八乙女「田舞」 「鈴舞」奉納	
四日	午後四時	献茶祭 御旅所 表千家宗匠奉仕	
五日	午後五時	甲御供奉饌 御旅所	
五日	午後三時半	西ノ京七保会による特殊神饌の奉饌	
五日	午後三時半	后宴祭 本社	
五日	午後五時	着御祭 本社	
五日	午後三時半	八乙女「田舞」奉納	

北野の光

齋行された祭典・行事

《四月～六月》

江戸期の賣茶翁を茶祖とする

賣茶本流献茶式齋行



煎茶の賣茶本流献茶式を四月十四日午前十時から御本殿で齋行した。賣茶本流は、賣茶翁の異名で呼ばれた江戸時代中期の高遊外を茶祖とする煎茶道で、昭和二十七年以来、毎年当宮において献茶式が執り行われている。社中の方々が参列される中、渡邊琢祥宗匠により煎茶が点てられ、御神前に献上された。式典後、社務所奥の間に茶席が設けられた。

無実の喜びを奉告する明祭 併せて
天皇陛下御譲位御安泰祈願祭を齋行

菅公の冤罪が晴れた日に当たる四月二十日、御本殿において、その喜びを御神前に奉告する明祭を午前十時から齋行した。また、この祭典に併せ、天皇陛下御譲位御安泰祈願祭を齋行した。

昌泰四年（九〇一）正月、菅公は左大臣藤原時平の讒言（ざんげん）によって無実の罪を着せられ、従二位右大臣の位から大宰権帥に左降され、二年後の延喜三年（九〇三）二月二十五日、失意のうちに薨去された。

二十年後の延長元年（九二二）四月二十日、冤罪は晴れ右大臣に復され、位も一階級上げて正二位が追贈され、さらに正暦四年（九九三）六月には正一位左大臣を、同年閏十月には人臣としては最高位の太政大臣を追贈された。



好天の下、氏子区域を神輿巡行

文子天満宮例祭

当宮の創建に関わった多治比文子が自邸で菅公を祀ったことに由来する末社文子天満宮の例祭を、四月十八日から二十一日まで四日間にあたり齋行した。

文子天満宮は、菅公の薨去後、最初に菅公をお祀りした文子の自邸内を聖地として建てられ、明治初期に境内の現在地に遷された。



例祭は「文子さん」「文子まつり」と呼ばれ、地域の人たちに親しまれている。

神幸祭の十八日は、文子天満宮前で祭典が齋行され、御神霊が遷された神輿が神職や西之京瑞饋神輿保存会の人たちのお供によって同天満宮御旅所（上京区上ノ下立売通御前西入ル）まで渡御。還幸祭の二十一日は御旅所での祭典後、神輿は再び巡行して境内の文子天満宮へ還幸した。神幸祭・還幸祭とも好天に恵まれ、多くの人たちが神輿を見守った。

新酒をお供えし、献酒祭を齋行 よいお酒が出来たことに感謝

新酒を御神前にお供えして五月十七日午前十一時から御本殿において献酒祭を齋行した。

室町時代、当宮神人に麴造りの特権（北野麴座）が与えられたことから酒造関係者の崇敬があり、酒造組合や酒造会社の代表らが玉串を捧げ、良いお酒が出来たことに感謝し、酒造りの安全と業界の繁栄、関係者の無病息災を祈願した。

献酒頂いた酒造会社・酒造組合は次の通り。（順不同）

佐々木酒造・松井酒造・宝酒造・増田徳兵衛商店・豊澤本店・黄桜・東山酒造・齊藤酒造・北川本家・山本本家・月桂冠・山本勘蔵商店・京姫酒造・鶴正酒造・都鶴酒造・平和酒造合資会社・藤岡酒造・キンシ正宗・玉乃光酒造・招徳酒造・城陽酒造・丹山酒造・関酒造・大石酒造・長老・羽田酒造・浪乃音酒造・平井商店・古川酒造・太田酒造・暁酒造・松瀬酒造・矢尾酒造・喜多酒造・愛知酒造・藤居本家・北島酒造・沢の鶴西日本支店・白鶴酒造大阪支社・本野田酒造・日本盛・北山酒造・白鷹・松竹梅酒造・辰馬本家酒造・國産酒造・万代大澤醸造・大澤本家酒造・大関・今津酒造・櫻正宗・菊正宗酒造・小山本家酒造灘浜福鶴蔵・劍菱酒造・安福又四郎商店・福徳長酒類関西支店・木下酒造・福光屋・三宅本店・奈良豊澤酒造・林酒造・伏見酒造組合・滋賀県酒造組合・西宮酒造家十日会・灘五郷酒造組合・山本合名会社・吉田酒造



「雷除大祭」賑わう 摂社火之御子社例祭、祭典は暁闇の中で齋行

「雷除大祭」の別名で知られる摂社火之御子社の例祭を六月一日午前四時から齋行した。

火雷神を祀った火之御子社は、当宮が鎮座する前から「北野の雷公」と称せられてこの地にあり、雷電・火難・五穀の守護として朝廷の篤い崇敬を受けた。現在も雷除けの信仰は根強く、この日は電気工事をする人や電力会社の人、釣り人・ゴルフ愛好者らの参拝が多い。祭典は開門前、暁闇の中で齋行し、雷除けのお札・お守りのお祓いをして午前五時の開門とともに授与したが、終日、参拝者で賑わった。

この日、絵馬所では京都産業大学「落語長屋」による恒例の落語・漫才・大喜利などの奉納があり参拝者を笑いの世界に誘った。



青柏祭 季節の変わり目の神事

柏の葉に御飯を包んで御神前に供え、日々の神恩に感謝し、無病息災を祈願する青柏祭を、六月十日午前十時から御本殿で齋行した。

季節の変わり目の神事であり、柏の葉は古代から祭事に用いる神聖なもの。



往時を偲び宮渡祭を斎行

北野の現在地に当宮が御鎮座した日に当たる六月九日、御本殿において午前十時から宮渡祭を斎行した。大宰府で薨去された菅公の御神霊から「北野の地に鎮まりたい」との御託宣が西ノ京の多治比文字、近江比良宮の神主の子、太郎丸に二度にわたって降り、天曆元年（九四七）のこの日、社殿が創建された。宮渡祭は、往時を偲ぶ祭典。



二條流の献茶式



煎茶の二條流による献茶式を六月二日午前十時から御本殿で斎行した。社中の約百人が参列される中、二條雅莊家元、雅英若宗匠が御神前に煎茶を献上された。式典後、社務所において茶席が設けられた。

台所の守護神 竈社例祭

東門内の北に鎮座する末社竈社の例祭を、六月十七日斎行した。

竈社は、当宮の御供所に祀られていた台所の神々をお祀りしており、社殿の床下には昔から使われてきた大釜が納められている。例祭日は明治十四年末社に列せられた日に当たり、各家庭の守護を祈念した。



「大福梅」の梅の実採取、二・二トンを収穫 飛梅の実も久しぶり一粒成る

正月の縁起物として祝膳には欠かせない「大福梅」に使われる梅の実の摘み取りが、六月八日から一週間にわたり神職や巫女、氏子崇敬者らによって行われ、例年並みの二・二トンを収穫した。

約三百年前の御神木を受け継いでいる御本殿前の飛梅「紅和魂梅」は減多に実をつけないが、今年は久しぶりに実を一粒つけており、令和の新しい御代を迎えて誠に縁起がよい吉祥であった。

採れた梅の実は塩漬けにされ、七月の梅雨明けを待って土用干しにされる。



梅雨入り未だの「夏越天神」賑わう

楼門に無病息災祈願の「大茅の輪くぐり」
御本殿では御誕辰祭を厳肅に斎行

御祭神菅原道真公の誕生日に当たる六月二十五日、御本殿で午前九時から御誕辰祭を厳肅に斎行した。楼門ではこの日の恒例となっている「大茅の輪くぐり」が執り行われ、早朝から無病息災を祈願する参拝者で大賑わいとなった。

菅公は文章博士、菅原是善公の第三子として承和十二年（八四五）六月二十五日、京都で誕生され、延喜三年（九〇三）二月二十五日に大宰府で薨去された。この御神縁によって毎月二十五日は「天神さん」の御縁日として賑わうが、とくに誕生日に当たる六月の御縁日は「夏越天神」と呼ばれ、盛夏を控えて楼門に取り付けた大茅の輪をくぐって厄除けと無病息災を祈る信仰が定着している。楼門の大茅の輪は直径五メートルという京都では最大級の大きさで、午前五時の開門とともに参拝者が次々とくぐり抜け、夏場の健康を祈っていた。



例年なら梅雨の最中の「夏越天神」だが、今年は未だ梅雨には入っておらず快晴で、最高気温三二・六度（平年二八・三度）
Ⅱ京都市内Ⅱの酷暑となったが、参道にはいつも通り多くの露店が並び、参拝者の足は終日途絶えることなく続いた。

梅雨の晴れ間、夏越の大祓式を斎行
約八百人参列し、半年間の罪や穢れを祓う

夏越の大祓式を六月三十日午後四時から御本殿前中庭で斎行した。幸い梅雨の晴れ間となり約八百人の崇敬者・参拝者が参列した。

今年半年間、無意識のうちに身についた罪や穢れを祓い清める神事で、参列者全員が大祓詞を奏上し、一人ひとりが切麻にて邪気を祓った。

この後、中庭に設けた背丈ほどの大きさの茅の輪を神職の先導によって参列者が古式通り三度くぐり抜け、元気にこの夏が過ぎるように祈った。

また、この半年間に納められた人形・車形代などを入れた唐櫃を神職が担いで同じように茅の輪をくぐった。



七月二十五日

新茶奉獻奉告祭

宇治・宇治田原・木幡・城陽・佐山・京田辺・醍醐・伏見・向島・綴喜・山城・南山城・信楽などの生産地を始めとし、京都の銘茶どころ各地域で摘まれた新茶を御神前に供え、茶業の発展を祈願する。

当宮と茶業との御縁は、天正十五年（二五八七）北野天満宮境内で豊臣秀吉公により開催された北野大茶湯の由縁に始まり、以来当宮は茶家からの信仰が殊に篤い。



七月十二日

自衛消防訓練

夏の「文化財防火デー」にあたる七月中旬、国宝に指定されている御本殿を始め、多数の重要な文化財を有する当宮でも、上京消防署と当宮職員による自衛消防隊・翔鸞学区自主防災会・翔鸞消防分団などとの連携による防火訓練を行う。

特に昨年は台風などの被害も大きく受けたため、本年はあらゆる自然災害も視野に入れ、緊急事態に備える。



八月三日～十八日

北野七夕祭

境内夜間特別参拝
史跡御土居ライトアップ

(8/10・11・12・16・17・18)

平安京の天門に鎮座する当宮は、古くより三辰（日・月・星）信仰の聖地として崇敬され、現在の七夕信仰に繋がっている。八月三日から始まる「北野七夕祭」の行事の一環として、境内一円に色とりどりに飾られた七夕笹をライトアップし、幻想的な雰囲気の中夜間参拝を実施。期間中の様々な行事と共に七夕の夕べを盛り上げる。



大福梅の土用干し

七月中旬～八月中旬

正月の縁起物として人気の高い「大福梅」調製の梅の実を、梅雨明けを受けて神職・巫女総がかりで土用干しする。大福梅の起源は、村上天皇の天曆元年（九五二）疫病流行の折、「天皇御脳にかかり給いしがこの茶を服し給えば御脳たち所に平癒す。これより王服と称して毎年元旦にこの茶を服し給ひ、萬民これを倣い年中の疫病邪気を除き長寿幸福を得るなり」と伝えられる。干しあがった梅の実は、裏白を添えて奉書紙で包み、十二月十三日の事初めから授与を開始する。



祭事 暦 (7月1日～10月5日)

《7月》

- 1日 午前10時 月首祭
天満宮講社奉賛活動現況奉告祭
- 12日 午前10時 當日祭
- 15日 午前10時 月次祭
- 25日 午前9時 月次祭
午前11時 新茶奉獻奉告祭
午後4時半 夕神饌

《8月》

【赤字表記：北野祭祭礼】

- 1日 午前10時 月首祭
- 《北野御手水神事》
- 6日 午後4時 御手洗祭前夕饌
- 7日 午前10時 御手洗祭
- 12日 午前10時 祈願絵馬焼納式
午前11時 学業大祭
- 15日 午前10時 月次祭
- 25日 午前9時 月次祭
午後4時半 夕神饌
- 31日 午後3時 奉納図画展授賞式

《9月》

- 1日 午前10時 月首祭
- 3日 参籠
- 4日 午前10時 例祭(大祭)
- 13日 午後4時 明月祭
- 15日 午前10時 月次祭
- 23日 午前10時 秋季皇霊祭遥拝式
- 24日 午前9時 神輿飾り
- 25日 午前9時 月次祭
午後4時 夕神饌
- 26日 午後4時 瑞饋祭稚児奉仕者奉告祭

《10月》

《瑞饋祭》

- 1日 午前9時 神幸祭 出御祭(本社)
- 2日 午前10時 献茶祭(御旅所) 表千家宗匠奉仕
- 3日 午後3時 甲御供奉饌(御旅所) 西ノ京七保会奉仕
- 4日 午前10時 還幸祭 出御祭(御旅所)
- 5日 午後3時半 后宴祭(本社)

月釜献茶 (8月1日～10月31日)

《8月》

- | | | | | |
|----|-----|--------|-------|-------|
| 8月 | 1日 | 献茶祭保存会 | 前田 宗音 | (明月舎) |
| | 11日 | 梅文会 | 休 会 | (松向軒) |
| | 15日 | 献茶祭保存会 | 休 会 | (明月舎) |
| | | 松向軒保存会 | 休 会 | (松向軒) |
| | 25日 | 紫芳会 | 休 会 | (松向軒) |

《9月》

- | | | | | |
|----|-----|--------|-------|-------|
| 9月 | 1日 | 献茶祭保存会 | 翠 心 会 | (明月舎) |
| | 8日 | 梅文会 | 郡 宗由 | (松向軒) |
| | 15日 | 献茶祭保存会 | 長島 宗里 | (明月舎) |
| | | 松向軒保存会 | 濱 宗貴 | (松向軒) |
| | 22日 | 紫芳会 | 今村 宗幸 | (松向軒) |

《10月》

- | | | | | |
|-----|-----|--------|-------|-------|
| 10月 | 1日 | 献茶祭保存会 | 村上 宗美 | (明月舎) |
| | 13日 | 梅文会 | 泉 恵 会 | (松向軒) |
| | 15日 | 献茶祭保存会 | 北風 宗照 | (明月舎) |
| | | 松向軒保存会 | 常 磐 会 | (松向軒) |
| | 27日 | 紫芳会 | 植中 宗佳 | (松向軒) |



八月二十三日～三十一日

奉納図画展

夏休み恒例となっている奉納図画展が、八月二十三日午後より絵馬所にて開催され、子どもたちが描いた力作を展示する。

八月三十一日

奉納図画展授賞式

入賞者参列のもと祭典を斎行し、授与式を執り行う。



九月四日

例祭【大祭】

永延元年(九八七)一條天皇が初めて北野祭を勅祭として斎行された由縁による、一年で最も重要な祭典。前日より参籠・潔斎した宮司以下神職が御本殿の扉を開け、雅楽の奏でられる中神饌を供し祝詞を奏上する。また、当宮には農耕の神としての御神徳がある為、氏子である西ノ京の農家より丹精込めて作られた野菜が奉納される。

本年から旧儀復興として旧暦の祭礼日に復し、責任役員以下関係者多数参列のもと、大祭式で厳粛に斎行する。

昔公ゆかりの青もみじに包まれる国宝御本殿



は残念」との声が年々高くなってきたため、平成二十七年度的にもみじの若葉が美しい四月下旬から「青もみじ」として公開している。「青もみじ」を愛でる風習は古からあり、「卯月ばかりの若楓、すべて、よろずの花、紅葉にもまさりてめでたきものなり」と、かの兼好法師も『徒然草』で綴っている。「北野の青もみじ」の名はすでに定着。今年も公開中は連日たくさんの方の参拝者が入苑し、紙屋川に架かる朱色の鶯橋などを背景にスマートフォンをかざして記念写真を撮る風景があちこちで見られた。



紙屋川沿いに咲く山吹の花

史跡御土居「青もみじ苑」の公開を今年も四月二十日から六月三十日まで行い、多くの参拝者が陽光に映える緑の鮮やかさや、黄色い山吹の花との絶妙のコントラストの美を楽しんだ。

豊臣秀吉公が築いた史跡御土居には約三百五十本のもみじがあり、紅葉の美しい秋と、梅苑開苑中の年二回公開してきた。しかし、この季節以外に訪れた他府県からの参拝者からは、「楽しみにしていた御土居の雰囲気味わえないの

陽光に映える緑鮮やか 史跡御土居「青もみじ」公開賑わう 黄色い山吹の花と絶妙のコントラストも

神若会北野天神太鼓会は五月三日、一の鳥居前で新帝陛下の御即位を奉祝し、「青もみじ太鼓」を奉納した。
会員約二十人が「祭囃子」「勇駒」「二心」など約十曲を披露、高らかに響く太鼓の音に多くの参拝者が聴き入った。

五月の空に 奉祝の「青もみじ太鼓」高らかに 神若会北野天神太鼓会奉納



青空のもと、一の鳥居前で天神太鼓を奉納



御土居上に広がる新緑のもみじ



北野天満宮の至宝 〈第三期〉刀剣×お茶 宝物殿で開催

「北野天満宮の至宝〈第三期〉刀剣×お茶」を四月二十日から六月三十日まで宝物殿で開催し、拝観者で賑わった。

北野天満宮とお茶にまつわる貴重な宝物を公開

天正十五年（一五八七）十月一日、豊臣秀吉公が北野松原において開いた大茶会「北野大茶湯」は、当宮と茶の湯の歴史を考えていく上で極めて重要なものとなった。今回の至宝展では、この〈お茶〉に焦点を合わせるとともに根強い人気が続く所蔵の刀剣類を一堂に展示、さらに新帝陛下の御即位を記念し、歴代天皇の御宸翰を始め皇室ゆかりの品々を展覧し、当宮と皇室との関係を改めてクローズアップした。

〈お茶〉の関係では「北野大茶湯」の開催を告げ、参加を呼び

かける高札を始め、浮田一惠筆によるその図（江戸期）、折々に当宮に奉納された茶碗、茶道具類を一挙公開。刀剣類では秀吉公の子息秀頼公によって奉納された太刀國広（重文）、髭切の別名を持つ鬼切丸（重文）などが並び、拝観者の目を引きつけていた。

皇室ゆかりの品々の展覧は、御代替わりを記念するもので、霊元天皇（百十二代）御寄進の香炉や御宸翰、光格天皇（百十九代）ゆかりの茶杓や御宸翰など。霊元天皇の当宮への御崇敬は篤く、御本殿前の中庭には奉納された石燈籠があり、また光格天皇は御譲位された最後の天皇として、この度の御代替わりで改めて注目を集めた。



太刀『鬼切丸 別名 髭切』（重文）

天皇陛下御即位を奉祝する二〇一九年度春期京都非公開文化財特別公開（公益財団法人京都古文化保存協会主催）が、四月二十六日から五月六日まで京都市内を中心とした社寺二十カ所で開催され、当宮宝物殿でも後宇多天皇御宸翰の経典（重文）を展示した。

この御宸翰の経典は『紫紙金字金光明最勝王経巻第一』（重文）で、後宇多天皇（二二六七―一三二四）が上皇（二二九四）に発願書写された經典の一巻。奈良時代の聖武天皇に倣い国家鎮護・人民安徳を願って齋戒して書写された経典。名筆としても知られた天皇の慈愛に満ちた素晴らしい字だけでなく、表紙や見返しにも天皇の宸翰を飾るにふさわしい趣向が凝らされており、来場者は真剣な表情で見入っていた。

奉祝 天皇陛下御即位

春期京都非公開文化財特別公開

宝物殿で後宇多天皇御宸翰の経典（重文）展示



非公開文化財展には連日多くの拝観者



『紫紙金字金光明最勝王経巻第一』（重文）



ようこそ

修学旅行の聖地

北野天満宮へ

参拝の修学旅行生に天神さまのご加護を

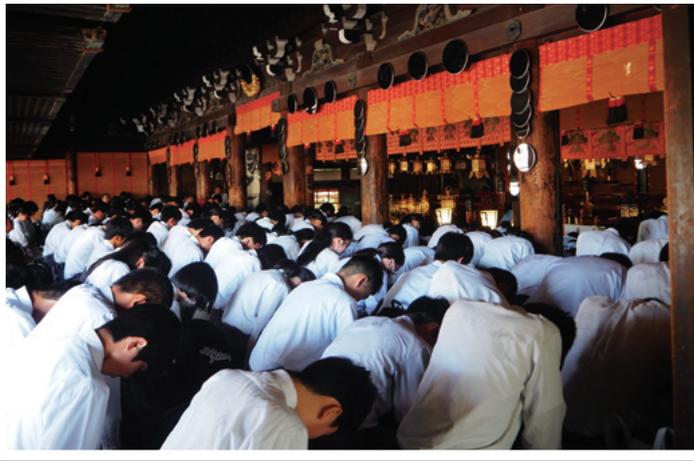
過去最高一日八十三クラスが昇殿参拝した日も

「志望校に合格しますように」「学力が上がりますように」「苦手な科目が克服できますように」。今年も春から夏にかけて各地から中学生を中心とする修学旅行生が当宮を訪れ、祈りを捧げた。五月には一日で八十三クラスという過去最高の昇殿参拝を数えた日もあり、御神前は、連日修学旅行生で沸き立つ賑わいをみせた。

当宮における修学旅行生の昇殿参拝は春と秋に集中しており、とくに春に多いのが特徴で、今年もその傾向が顕著となっている。昇殿参拝した学校数は、四月こそ百五十一校と前年より七校下回ったが五月三百五校、六月二百八十六校と、両月とも前年よりそれぞれ二十二校、十校上回っている。

これを昇殿参拝したクラス数で見ると、四月三百四十九クラス、五月七百七十六クラス、六月六百九十一クラスとなっており、とくに五月三十日は一日で八十三クラスという過去最高を記録した日もあり、朝から夕刻まで御本殿前の中庭は昇殿を待つ修学旅行生でごった返した。

近年の傾向は、クラスごとの昇殿参拝以外に十数人〜数人ずつバスやタクシーを使って自由に参拝



入試合格 昇殿参拝祈祷

する修学旅行生も増えており、修学旅行スタイルの多様化が進んでいるようである。

京都は著名な名所旧跡が多いため、短い時間でそれらを巡らねばならないという時間的な制約が学校側の悩みであった。そこで数年前から当宮の由緒や社殿について解説した神職手づくりのDVDを、過去に昇殿参拝したことのある学校などに送り、学校やバスの中で事前学習が出来るようにしたため「天満宮での滞在時間は変わらないが、事前に天満宮のことを学んでおき、中身の濃い参拝が出来る」と喜ばれている。

さらに今年も、天神さまの御神徳をもっと広く受けて頂くための取り組みとして、京都に訪れる修学旅行校でも、これまで当宮と御縁がなかった学校や、修学旅行で京都に来ていない都道府県の学校に対して、精力的に参拝案内を発信した。

新たな学校からの問い合わせも増え始め、昨年に比べて、今年参拝学校数が増えているのも、この取り組みを反映したものと思われる。

修学旅行参拝者数

(令和元年四月一日〜七月十五日) 但し、お申し出を頂いた数

四月	昇殿参拝 一五一校	三四九クラス	自由参拝 一三五校
五月	昇殿参拝 三〇五校	七七六クラス	自由参拝 五一三校
六月	昇殿参拝 二八六校	六九一クラス	自由参拝 三九四校
七月	昇殿参拝 三九校	八五クラス	自由参拝 四〇校
合計	昇殿参拝 七八一校	一八二五クラス	自由参拝 一一八二校

※その他、タクシー参拝・班別参拝等を合わせると、およそ三十万人の修学旅行生の方が参拝されました。

此の度の参拝を心の支えとされ、また天神さまの御加護によりご祈願の成就をお祈り申し上げます。





絵馬に願いをこめて



玉串を捧げる代表生徒ら



修学旅行生で賑わう楼門前

修学旅行のひとこま



参道の様子



お守りを求め並ぶ生徒



入試合格祈禱祝詞奏上

修学旅行特別昇殿参拝学校一覧 (順不同)



●愛知県

名古屋経済大学高蔵高等学校 2クラス
名古屋ユマニテック歯科衛生専門学校 2クラス

●茨城県

かすみがうら市立下稲吉中学校 6クラス
つくば市立みどりの学園義務教育学校 1クラス
つくば市立谷田部中学校 5クラス
ひたちなか市立阿字ヶ浦中学校 1クラス
ひたちなか市立那珂湊中学校 4クラス
ひたちなか市立勝田第一中学校 1クラス
阿見町立阿見中学校 4クラス
下妻市立下妻中学校 4クラス
笠間市立友部第二中学校 4クラス
笠間市立岩間中学校 1クラス
笠間市立友部中学校 3クラス
笠間市立みなみ学園義務教育学校 1クラス
大子町立大子中学校 2クラス
結城市立結城東中学校 4クラス
結城市立結城中学校 6クラス
古河市立古河第三中学校 4クラス
古河市立古河第二中学校 6クラス
坂東市立東中学校 2クラス
桜川市立大和中学校 2クラス
桜川市立桃山学園 3クラス

桜川市立桜川中学校 2クラス
鹿嶋市立平井中学校 3クラス
取手市立永山中学校 3クラス
取手市立取手第一中学校 4クラス
小美玉市立小川南中学校 3クラス
小美玉市立小川北中学校 2クラス
常総市立海道西中学校 4クラス
常陸太田市立太田中学校 2クラス
常陸太田市立世矢中学校 1クラス
常陸太田市立瑞竜中学校 2クラス
常陸太田市立里美中学校 1クラス
常陸太田市立金砂郷中学校 3クラス
常陸大宮市立山方中学校 2クラス
常陸大宮市立明峰中学校 2クラス
常陸大宮市立第二中学校 2クラス
常陸大宮市立大宮中学校 6クラス
神栖市立神栖第四中学校 4クラス
水戸市立常澄中学校 4クラス
水戸市立国田義務教育学校 1クラス
水戸市立赤塚中学校 4クラス
水戸市立笠原中学校 2クラス
水戸市立見川中学校 1クラス
茨城歯科専門学校 1クラス
茨城市立千波中学校 1クラス
水戸市立第二中学校 1クラス
水戸市立双葉台中学校 4クラス
水戸市立第一中学校 3クラス
水戸市立飯富中学校 1クラス
水戸市立第五中学校 4クラス
水戸市立石川中学校 3クラス
石岡市立府中中学校 4クラス
筑西市立下館中学校 5クラス
筑西市立下館北中学校 1クラス
筑西市立下館西中学校 4クラス
筑西市立協和中学校 4クラス
茨城町立青葉中学校 1クラス
茨城町立明光中学校 5クラス
茨城市立桂中学校 1クラス
城里町立常北中学校 3クラス
大洗町立南中学校 2クラス
東海村立東海南中学校 5クラス
那珂市立第二中学校 2クラス
茨城県立茨城学園中等部 1クラス
日立市立多賀中学校 4クラス

●宮城県

古川学園中学校 2クラス

●群馬県

みどり市立笠懸南中学校 1クラス
みどり市立笠懸中学校 2クラス
みどり市立大間々中学校 1クラス
みどり市立大間々東中学校 1クラス
安中市立第一中学校 2クラス
安中市立第二中学校 2クラス
安中市立松井田北中学校 1クラス
伊勢崎市立第四中学校 1クラス
伊勢崎市立境北中学校 2クラス
伊勢崎市立殖運中学校 1クラス
伊勢崎市立赤堀中学校 1クラス
伊勢崎市立宮郷中学校 3クラス
伊勢崎市立あずま中学校 1クラス
伊勢崎市立第三中学校 2クラス
甘葉町立甘葉中学校 2クラス
館林市立多々良中学校 3クラス
館林市立第三中学校 1クラス
桐生市立川内中学校 1クラス
桐生市立相生中学校 1クラス
桐生市立清流中学校 1クラス
桐生市立梅田中学校 1クラス
桐生市立中央中学校 3クラス
高山市立高山中学校 1クラス
嬭恋村立嬭恋中学校 2クラス
高崎市立吉井西中学校 2クラス
高崎市立群馬中央中学校 2クラス
高崎市立高松中学校 1クラス
高崎市立群馬南中学校 1クラス
高崎市立寺尾中学校 2クラス
高崎市立高南中学校 1クラス
高崎市立佐野中学校 4クラス
高崎市立榛名中学校 2クラス
高崎市立倉淵中学校 1クラス
高崎市立中尾中学校 3クラス



高崎市立豊岡中学校 3クラス
高崎市立並榎中学校 3クラス
高崎市立片岡中学校 4クラス
高崎市立矢野中学校 2クラス
玉村町立南中学校 2クラス
玉村町立玉村中学校 3クラス
洪川市立北橋中学校 1クラス
沼田市立沼田中学校 3クラス
沼田市立白沢中学校 2クラス
前橋市立第七中学校 2クラス
前橋市立東中学校 1クラス
前橋市立荒砥中学校 1クラス
前橋市立木瀬中学校 2クラス
前橋市立鎌倉中学校 1クラス
前橋市立鎌倉中学校 5クラス
前橋市立桂萱中学校 1クラス
前橋市立第六中学校 1クラス
前橋市立元総社中学校 1クラス
前橋市立第一中学校 2クラス
前橋市立第一中学校 2クラス
前橋市立みづき中学校 1クラス
前橋市立柏川中学校 1クラス
前橋市立宮城中学校 1クラス
前橋市立第五中学校 1クラス
前橋市立第三中学校 1クラス
太田市立木崎中学校 3クラス
藤岡市立北中学校 1クラス
藤岡市立西中学校 1クラス
富岡市立西中学校 2クラス
富岡市立北中学校 1クラス
富岡市立東中学校 3クラス
みなかみ町立月夜野中学校 2クラス
みなかみ町立新治中学校 1クラス
昭和村立昭和中学校 2クラス

●埼玉県

さいたま市立木崎中学校 1クラス
さいたま市立大原中学校 2クラス
さいたま市立城南中学校 2クラス
さいたま市立柏陽中学校 3クラス
さいたま市立片柳中学校 1クラス
さいたま市立春野中学校 1クラス
さいたま市立春里中学校 4クラス
さいたま市立大宮八幡中学校 1クラス
さいたま市立上大久保中学校 2クラス
さいたま市立土合中学校 3クラス
さいたま市立宮前中学校 1クラス
さいたま市立植水中学校 1クラス
さいたま市立馬宮中学校 1クラス
さいたま市立三橋中学校 1クラス
さいたま市立大成中学校 1クラス
さいたま市立与野東中学校 3クラス
さいたま市立与野南中学校 2クラス
さいたま市立八王子中学校 1クラス
さいたま市立与野西中学校 1クラス
さいたま市立内谷中学校 6クラス
さいたま市立岸中学校 1クラス
さいたま市立宮原中学校 2クラス
さいたま市立日進中学校 2クラス
さいたま市立立竹中学校 1クラス
さいたま市立泰平中学校 1クラス
さいたま市立原山中学校 1クラス
さいたま市立東浦和中学校 2クラス
さいたま市立美園中学校 5クラス
さいたま市立美園南中学校 1クラス
羽生市立西中学校 4クラス
越谷市立中央中学校 3クラス
越谷市立千間台中学校 2クラス
越谷市立富士中学校 2クラス
越谷市立南中学校 2クラス
越谷市立大相模中学校 2クラス
越谷市立栄進中学校 2クラス
越谷市立大袋中学校 4クラス
加須市立加須東中学校 1クラス
加須市立加須西中学校 2クラス
加須市立加須北中学校 1クラス
加須市立大利根中学校 3クラス
久喜市立栗橋西中学校 1クラス
久喜市立久喜南中学校 1クラス
久喜市立久喜南中学校 2クラス
久喜市立鷺宮西中学校 1クラス
熊谷市立大幡中学校 1クラス
熊谷市立江南中学校 1クラス

熊谷市立別府中学校 2クラス
戸田市立喜沢中学校 6クラス
戸田市立新曾中学校 2クラス
行田市立太田中学校 2クラス
行田市立西中学校 1クラス
三郷市立瑞穂中学校 2クラス
三郷市立早稲田中学校 3クラス
春日部市立葛飾中学校 1クラス
春日部市立大沼中学校 2クラス
春日部市立春日部中学校 1クラス
春日部市立武里中学校 5クラス
春日部市立春日部南中学校 3クラス
所沢市立柳瀬中学校 4クラス
上尾市立上尾中学校 1クラス
上尾市立上尾中学校 4クラス
上尾市立上平中学校 4クラス
上尾市立大石中学校 2クラス
新座市立第六中学校 1クラス
新座市立第二中学校 1クラス
新座市立第五中学校 3クラス
深谷市立明戸中学校 1クラス
深谷市立藤沢中学校 1クラス
深谷市立深谷中学校 1クラス
川口市立安行東中学校 3クラス
川口市立安行中学校 2クラス
川口市立岸川中学校 2クラス
川口市立在家中学校 2クラス
川口市立西中学校 5クラス
川口市立塚中学校 2クラス
川口市立芝中学校 2クラス
川口市立芝西中学校 1クラス
川口市立芝東中学校 3クラス
川口市立南中学校 2クラス
川口市立上青木中学校 5クラス
川口市立榛松中学校 2クラス
川口市立幸並中学校 2クラス
川口市立戸塚西中学校 4クラス
川口市立青木中学校 1クラス
川口市立神根中学校 3クラス
川口市立十二月田中学校 3クラス
川口市立元郷中学校 1クラス
川口市立鳩ヶ谷中学校 5クラス
川口市立里中学校 3クラス
川口市立領家中学校 4クラス
寄居町立城南中学校 1クラス
日高市立高萩中学校 3クラス

入間市立藤沢中学校 5クラス
入間市立東町中学校 2クラス
入間市立上藤沢中学校 1クラス
白岡市立南中学校 1クラス
飯能市立加治中学校 1クラス
飯能市立飯能第一中学校 4クラス
杉戸町立広島中学校 2クラス
北本市立東中学校 1クラス
北本市立西中学校 2クラス
本庄市立見玉中学校 3クラス
本庄第一中学校 2クラス
和光市立大和中学校 7クラス
さいたま市立本太中学校 1クラス
さいたま市立大谷口中学校 3クラス
さいたま市立尾間木中学校 1クラス
越谷市立西中学校 1クラス
越谷市立北中学校 4クラス
越谷市立新栄中学校 4クラス
越谷市立東中学校 3クラス
越谷市立平方中学校 3クラス
加須市立加須西中学校 2クラス
吉川市立東中学校 5クラス
吉川市立南中学校 2クラス
久喜市立久喜中学校 1クラス
戸田市立笹目中学校 2クラス
戸田市立美笹中学校 3クラス
幸手市立東中学校 1クラス
行田市立長野中学校 3クラス
鴻巣市立川里中学校 1クラス
鴻巣市立鴻巣中学校 1クラス
三郷市立栄中学校 2クラス
三郷市立南中学校 1クラス
神川町立神川中学校 1クラス
所沢市立三ヶ島中学校 3クラス
所沢市立狭山ヶ丘中学校 2クラス
上尾市立大谷中学校 1クラス
上尾市立西中学校 2クラス
長瀨町立長瀨中学校 2クラス
宮代町立須賀中学校 1クラス
飯能市立奥武蔵中学校 1クラス
杉戸町立杉戸中学校 2クラス
蓮田市立蓮田中学校 1クラス

●山梨県
甲州市立塩山中学校 4クラス
甲州市立勝沼中学校 1クラス
甲斐市立双葉中学校 5クラス

●神奈川県
伊勢原市立成瀬中学校 3クラス
伊勢原市立伊勢原中学校 4クラス
横須賀市立武山中学校 1クラス
横須賀市立本郷中学校 1クラス
横須賀市立舞岡中学校 2クラス
横須賀市立松本中学校 3クラス
横須賀市立みたけ台中学校 1クラス
横須賀市立市ヶ尾中学校 1クラス
横須賀市立領家中学校 2クラス
横須賀市立荏田南中学校 2クラス
横須賀市立六ツ川中学校 1クラス
横須賀市立岩崎中学校 2クラス
横須賀市立新井中学校 2クラス
横須賀市立田奈中学校 1クラス
厚木市立林中学校 3クラス
小田原市立城南中学校 2クラス
秦野市立南が丘中学校 1クラス



甲府市立北東中学校 1クラス
甲府市立東中学校 2クラス
甲府市立富竹中学校 1クラス
都留市立都留第二中学校 4クラス
西桂町立西桂中学校 2クラス
忍野村立忍野中学校 1クラス
富士吉田市立明見中学校 3クラス
富士吉田市立吉田中学校 1クラス
富士吉田市立富士見台中学校 1クラス
北杜市立須玉中学校 1クラス

川崎市立宮崎中学校 5クラス
川崎市立宮前平中学校 4クラス
川崎市立犬蔵中学校 3クラス
川崎市立向丘中学校 4クラス
川崎市立菅生中学校 2クラス
川崎市立平中学校 2クラス
川崎市立野川中学校 6クラス
川崎市立有馬中学校 2クラス
川崎市立御幸中学校 2クラス
川崎市立南河原中学校 2クラス
川崎市立塚越中学校 4クラス
川崎市立南大瀬中学校 5クラス
川崎市立日吉中学校 4クラス
川崎市立西高津中学校 3クラス
川崎市立高津中学校 3クラス
川崎市立東橋中学校 5クラス
川崎市立東橋中学校 2クラス
川崎市立東高津中学校 2クラス
川崎市立川崎中学校 2クラス
川崎市立京町中学校 3クラス
川崎市立南大瀬中学校 3クラス
川崎市立大師中学校 6クラス
川崎市立桜本中学校 1クラス
川崎市立渡田中学校 3クラス
川崎市立臨港中学校 5クラス
川崎市立富士見中学校 3クラス
川崎市立生田中学校 1クラス
川崎市立稲田中学校 3クラス
川崎市立菅中学校 4クラス
川崎市立南菅中学校 2クラス
川崎市立中野島中学校 3クラス
川崎市立井田中学校 3クラス
川崎市立西中原中学校 6クラス
川崎市立西中原中学校 9クラス
川崎市立宮内中学校 5クラス
川崎市立今井中学校 2クラス
川崎市立中原中学校 4クラス
川崎市立平間中学校 2クラス
川崎市立玉川中学校 2クラス
川崎市立住吉中学校 2クラス
川崎市立西生田中学校 2クラス
川崎市立麻生中学校 4クラス
川崎市立柿生中学校 2クラス
川崎市立長沢中学校 2クラス
川崎市立白鳥中学校 5クラス
二宮町立二宮中学校 3クラス
藤沢市立滝の沢中学校 1クラス

●静岡県
伊東市立宇佐美中学校 1クラス
伊東市立門野中学校 3クラス
伊東市立南中学校 6クラス
伊東市立北中学校 2クラス
伊東市立対島中学校 3クラス
伊豆の国市立大仁中学校 3クラス
伊豆の国市立葦山中学校 4クラス
伊豆市立天城中学校 1クラス
伊豆市立土肥小一貫校 1クラス
掛川市立大須賀中学校 3クラス
掛川市立城東中学校 2クラス
掛川市立北中学校 2クラス
掛川市立桜が丘中学校 4クラス
掛川市立栄川中学校 1クラス
菊川市立菊川西中学校 6クラス
菊川市立菊川東中学校 4クラス
湖西市立湖西中学校 2クラス
湖西市立白須賀中学校 1クラス
御殿場市立原里中学校 5クラス
御殿場市立富士岡中学校 7クラス
御殿場市立西中学校 3クラス
御殿場市立御殿場中学校 6クラス
三島市立山田中学校 2クラス
三島市立中郷中学校 3クラス



藤沢市立長後中学校 3クラス
藤沢市立鶴沼中学校 4クラス
藤沢市立湘洋中学校 2クラス

三島市立錦田中学校	4クラス
三島市立北中学校	1クラス
清水町立南中学校	3クラス
長泉町立北中学校	4クラス
沼津市立門池中学校	1クラス
沼津市立第三中学校	1クラス
沼津市立原中学校	4クラス
沼津市立戸田中学校	1クラス
沼津市立第五中学校	2クラス
沼津市立片浜中学校	3クラス
沼津市立金岡中学校	6クラス
沼津市立愛鷹中学校	4クラス
沼津市立大岡中学校	5クラス
沼津市立今沢中学校	3クラス
沼津市立長井崎中学校	1クラス
沼津市立浮島中学校	2クラス
焼津市立大井川中学校	1クラス
焼津市立豊田中学校	1クラス
焼津市立港中学校	1クラス
吉田町立吉田中学校	3クラス
裾野市立富岡中学校	4クラス
裾野市立西中学校	5クラス
裾野市立深良中学校	2クラス
静岡市立安東中学校	1クラス
静岡市立服織中学校	2クラス
静岡市立観山中学校	4クラス
静岡市立美和中学校	3クラス
静岡市立西奈中学校	3クラス
静岡市立籠上中学校	1クラス
静岡市立末広中学校	1クラス
静岡市立蒲原中学校	3クラス
静岡市立清水飯田中学校	2クラス
静岡市立清水第七中学校	2クラス
静岡市立清水小島中学校	1クラス
静岡市立清水第八中学校	1クラス
袋井市立袋井中学校	2クラス
袋井市立浅羽中学校	3クラス
函南町立函南中学校	4クラス
函南町立東中学校	5クラス
島田市立金谷中学校	4クラス
藤枝市立岡部中学校	2クラス
藤枝市立藤枝中学校	2クラス
藤枝市立青島北中学校	1クラス
藤枝市立大洲中学校	3クラス
磐田市立神明中学校	1クラス
浜松市立舞阪中学校	1クラス
浜松市立曳馬中学校	7クラス



浜松市立開成中学校	2クラス
浜松市立江西中学校	3クラス
浜松市立蜷塚中学校	4クラス
浜松市立春野中学校	1クラス
浜松市立積志中学校	2クラス
浜松市立三ヶ日中学校	1クラス
富士宮市立柳野中学校	1クラス
富士宮市立富士根南中学校	6クラス
富士宮市立西富士中学校	2クラス
富士宮市立富士根北中学校	1クラス
富士宮市立井之頭中学校	1クラス
富士宮市立富士宮第四中学校	6クラス
富士宮市立富士宮第二中学校	3クラス
富士宮市立北山中学校	2クラス
富士宮市立大富士中学校	3クラス
富士宮市立富士宮第三中学校	4クラス
富士宮市立富士宮第一中学校	5クラス
富士市立吉原第一中学校	5クラス
富士市立鷹岡中学校	1クラス
富士市立吉原北中学校	4クラス
富士市立吉原第二中学校	3クラス
富士市立岩松中学校	4クラス
富士市立富士南中学校	6クラス
富士市立大淵中学校	9クラス
富士市立田子浦中学校	4クラス
富士市立富士中学校	5クラス
富士市立須津中学校	6クラス
富士市立岳陽中学校	4クラス
富士市立吉原第三中学校	8クラス
富士市立吉原第二中学校	3クラス
富士市立富士川第二中学校	1クラス
富士市立元吉原中学校	2クラス
牧之原市立榛原中学校	1クラス
学校組合立牧之原中学校	1クラス

●千葉県	
印西市立船穂中学校	2クラス
印西市立滝野中学校	3クラス
印西市立印旛中学校	3クラス
栄町立栄中学校	4クラス
浦安市立入船中学校	2クラス
浦安市立堀江中学校	6クラス
我孫子市立久寺家中学校	1クラス
我孫子市立湖北台中学校	1クラス
我孫子市立白山中学校	6クラス
鎌ヶ谷市立第五中学校	2クラス
鎌ヶ谷市立第二中学校	1クラス
鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷中学校	4クラス
君津市立周西南中学校	3クラス
君津市立立井西南中学校	2クラス
佐倉市立立井中学校	1クラス
佐倉市立白井西中学校	3クラス
横芝光町立光中学校	2クラス
山武市立成東中学校	3クラス
四街道市立四街道西中学校	5クラス
市原市立姉崎中学校	4クラス
市川市立高谷中学校	1クラス
市川市立南行徳中学校	7クラス
市川市立第七中学校	2クラス
習志野市立第六中学校	1クラス
習志野市立第四中学校	4クラス
松戸市立旭町中学校	3クラス
松戸市立河原塚中学校	1クラス
松戸市立第一中学校	2クラス
松戸市立古ヶ崎中学校	3クラス
松戸市立第四中学校	3クラス
松戸市立牧野原中学校	2クラス
松戸市立小金北中学校	1クラス
松戸市立栗ヶ沢中学校	2クラス
松戸市立小金南中学校	1クラス
松戸市立第二中学校	1クラス
松戸市立新松戸南中学校	2クラス
松戸市立小金中学校	2クラス
松戸市立第六中学校	1クラス
成田市立西中学校	1クラス
成田市立玉造中学校	3クラス
千葉市立幕張中学校	4クラス
千葉市立緑が丘中学校	2クラス
千葉市立みつわ台中学校	2クラス
千葉市立白井中学校	1クラス
千葉市立高洲第一中学校	1クラス
千葉市立打瀬中学校	4クラス

千葉市立土気中学校	2クラス
船橋市立船橋中学校	1クラス
船橋市立海神中学校	2クラス
船橋市立大穴中学校	2クラス
袖ヶ浦市立長浦中学校	3クラス
袖ヶ浦市立根形中学校	2クラス
大網白里市立白里中学校	2クラス
東金市立東金中学校	4クラス
東金市立東金中学校	2クラス
柏市立光ヶ丘中学校	4クラス
柏市立柏第五中学校	1クラス
柏市立高柳中学校	4クラス
柏市立酒井根中学校	2クラス
柏市立松葉中学校	2クラス
柏市立西原中学校	3クラス
柏市立田中学校	2クラス
柏市立大津ヶ丘中学校	3クラス
柏市立南部中学校	1クラス
柏市立豊四季中学校	1クラス
柏市立柏第四中学校	5クラス
柏市立柏中学校	2クラス
柏市立柏第二中学校	1クラス
柏市立立白井中学校	2クラス
白井市立白井中学校	2クラス
白井市立桜台中学校	3クラス
白井市立七次台中学校	1クラス
白井市立大山口中学校	4クラス
白井市立南山中学校	4クラス
八街市立八街南中学校	1クラス
八街市立八街中央中学校	3クラス
八街市立八街中央中学校	1クラス
富里市立富里中学校	2クラス
野田市立南部中学校	8クラス
野田市立福田中学校	3クラス
野田市立北部中学校	4クラス
野田市立北部中学校	4クラス
野田市立第二中学校	2クラス
野田市立川間中学校	2クラス
野田市立木間ヶ瀬中学校	1クラス
野田市立第一中学校	4クラス
流山市立南部中学校	3クラス
流山市立八木中学校	4クラス
流山市立西初石中学校	3クラス
流山市立北部中学校	4クラス
流山市立常盤松中学校	2クラス
流山市立東部中学校	3クラス
流山市立南流山中学校	1クラス

●大阪府	
大商学園高等学校	13クラス
●長野県	
安曇野市立三郷中学校	2クラス
安曇野市立穂高東中学校	1クラス
安曇野市立穂高西中学校	4クラス
安曇野市立豊科南中学校	1クラス
安曇野市立堀金中学校	2クラス
伊那市立伊那中学校	1クラス
伊那市立高遠中学校	2クラス
伊那市立春富中学校	2クラス
伊那市立東部中学校	6クラス
塩尻市立広陵中学校	5クラス
塩尻市立塩尻西部中学校	3クラス
塩尻市立野町組合立岡小野中学校	1クラス
岡谷市立岡谷北部中学校	1クラス
岡谷市立岡谷東部中学校	1クラス
岡谷市立岡谷南部中学校	1クラス
安曇野市立阿智中学校	2クラス
伊那市立伊那中学校	1クラス
伊那市立高遠中学校	2クラス
伊那市立春富中学校	2クラス
塩尻市立広陵中学校	6クラス
塩尻市立塩尻西部中学校	5クラス
塩尻市立野町組合立岡小野中学校	3クラス
岡谷市立岡谷北部中学校	1クラス
岡谷市立岡谷東部中学校	1クラス
岡谷市立岡谷南部中学校	1クラス
阿智村立阿智中学校	2クラス
阿南町立阿南第二中学校	1クラス
阿南町立阿南第二中学校	1クラス
喬木村立喬木中学校	1クラス
高森町立高森中学校	5クラス
松川町立松川中学校	3クラス
山ノ内町立山ノ内中学校	1クラス
木島平村立木島平中学校	2クラス
野沢温泉村立野沢温泉中学校	1クラス
茅野市立長峰中学校	2クラス
茅野市立東部中学校	2クラス
茅野市立永明中学校	3クラス



駒ヶ根市立赤穂中学校 2クラス
 佐久市立白田中学校 2クラス
 佐久市立浅間中学校 6クラス
 佐久市立望月中学校 1クラス
 佐久市立東中学校 1クラス
 佐久市立浅科中学校 2クラス
 佐久市立野沢中学校 1クラス
 青木村立青木中学校 1クラス
 小諸市立小諸東中学校 4クラス
 小諸市立芦原中学校 2クラス
 松本市立梓川中学校 1クラス
 信州大学教育学部附属松本中学校 2クラス
 松本市立菅野中学校 4クラス
 松本市立明善中学校 1クラス
 松本市立清水中学校 4クラス
 松本市立信明中学校 3クラス
 松本市立筑摩野中学校 4クラス
 松本市立松島中学校 2クラス
 松本市立波田中学校 5クラス
 宮田村立宮田中学校 3クラス
 辰野町立辰野中学校 4クラス
 中川村立中川中学校 2クラス
 南箕輪村立南箕輪中学校 2クラス
 飯島町立飯島中学校 2クラス
 箕輪町立箕輪中学校 4クラス
 高山村立高山中学校 1クラス
 小布施町立小布施中学校 2クラス
 小川村立小川中学校 1クラス
 信濃町立信濃小中学校 2クラス
 飯綱町立飯綱中学校 3クラス
 上田市立第一中学校 3クラス
 上田市立第六中学校 2クラス
 上田市立丸子中学校 1クラス
 上田市立第五中学校 1クラス
 上田市立真田中学校 2クラス
 上田市立第四中学校 2クラス
 上田市立第三中学校 1クラス
 上田市立塩田中学校 2クラス
 下諏訪町立下諏訪社中学校 2クラス
 富士見町立富士見中学校 1クラス
 諏訪市立上諏訪中学校 1クラス
 諏訪市立諏訪南中学校 2クラス
 諏訪市立諏訪南中学校 4クラス
 須坂市立相森中学校 1クラス
 須坂市立常盤中学校 1クラス
 須坂市立墨坂中学校 1クラス
 千曲市立更埴西中学校 2クラス

千曲市立屋代中学校 4クラス
 千曲市立戸倉上山田中学校 2クラス
 千曲市立殖生中学校 1クラス
 大町市立仁科台中学校 4クラス
 大町市立第一中学校 2クラス
 大町市立美麻小中学校 1クラス
 中野市立南宮中学校 1クラス
 中野市立中野平中学校 3クラス
 中野市立豊田中学校 1クラス
 長野市立裾花中学校 4クラス
 長野市立広徳中学校 5クラス
 長野市立北部中学校 4クラス
 長野市立櫻ヶ岡中学校 2クラス
 長野市立篠ノ井東中学校 2クラス
 長野市立篠ノ井西中学校 3クラス
 長野市立信州新町中学校 1クラス
 長野市立西部中学校 1クラス
 長野市立更北中学校 1クラス
 長野市立犀陵中学校 4クラス
 長野市立川中島中学校 3クラス
 信州大学教育学部附属長野中学校 1クラス
 東御市立北御牧中学校 2クラス
 東御市立東部中学校 3クラス
 飯山市立城北中学校 2クラス
 飯山市立城南中学校 2クラス
 飯山市立飯田東中学校 1クラス
 飯山市立高陵中学校 2クラス
 飯田市立飯田西中学校 2クラス
 飯田市立飯田中学校 3クラス
 飯田市立遠山中学校 1クラス
 松川村立松川中学校 1クラス
 池田町立高瀬中学校 2クラス
 白馬村立白馬中学校 1クラス
 軽井沢町立軽井沢中学校 2クラス
 御代町立御代田中学校 2クラス
 立科町立立科中学校 1クラス
 木曾町立木曾町中学校 1クラス

●東京都

葛飾区立立石中学校 1クラス
 荒川区立第三中学校 1クラス
 西東京市立田無第二中学校 3クラス
 大妻中学校 1クラス
 台東区立忍岡中学校 1クラス
 八王子市立石川中学校 2クラス
 府中市立府中第二中学校 2クラス
 府中市立浅間中学校 1クラス



●徳島県

徳島県立城南高等学校 2クラス

●栃木県

さくら市立喜連川中学校 2クラス
 さくら市立氏家中学校 1クラス
 作新学院中等部 5クラス
 宇都宮市立横川中学校 2クラス
 宇都宮市立瑞穂野中学校 2クラス
 宇都宮市立田原中学校 2クラス
 宇都宮市立豊郷中学校 3クラス
 宇都宮市立一条中学校 3クラス
 宇都宮市立陽北中学校 2クラス
 宇都宮市立若松原中学校 3クラス
 宇都宮市立国本中学校 3クラス
 宇都宮市立雀宮中学校 2クラス
 宇都宮市立陽東中学校 2クラス
 宇都宮市立陽南中学校 3クラス
 宇都宮市立清原中学校 6クラス
 塩谷町立塩谷中学校 5クラス
 壬生町立壬生中学校 3クラス
 壬生町立南犬飼中学校 2クラス
 野木町立野木第二中学校 6クラス
 下野市立南河内第二中学校 3クラス
 2クラス

下野市立国分寺中学校 4クラス
 下野市立南河内中学校 2クラス
 下野市立城東中学校 1クラス
 佐野市立赤見中学校 1クラス
 佐野市立西中学校 2クラス
 鹿沼市立加蘇中学校 1クラス
 鹿沼市立西中学校 3クラス
 鹿沼市立北中学校 4クラス
 小山市立大谷中学校 5クラス
 小山市立美田中学校 2クラス
 小山市立間々田中学校 5クラス
 小山市立小山第三中学校 7クラス
 小山市立小山中学校 5クラス
 小山市立桑田中学校 5クラス
 小山市立豊田中学校 2クラス
 小山市立絹義務教育学校 2クラス
 真岡市立久下田中学校 3クラス
 真岡市立物部中学校 3クラス
 真岡市立山前中学校 2クラス
 真岡市立真岡西中学校 2クラス
 真岡市立長沼中学校 1クラス
 真岡市立真岡東中学校 2クラス
 真岡市立富田中学校 1クラス
 足利市立富田中学校 2クラス
 足利市立山辺中学校 1クラス
 足利市立坂西中学校 1クラス
 足利市立若草中学校 3クラス
 大田原市立野崎中学校 2クラス
 大田原市立若草中学校 3クラス
 栃木市立皆川中学校 1クラス
 栃木市立岩舟中学校 4クラス
 栃木市立西方中学校 2クラス
 栃木市立東陽中学校 5クラス
 栃木市立大平南中学校 1クラス
 栃木市立大平中学校 3クラス
 栃木市立都賀中学校 3クラス
 栃木市立藤岡第一中学校 3クラス
 栃木市立藤岡第二中学校 3クラス
 栃木市立藤岡第一中学校 1クラス
 栃木市立藤岡第二中学校 1クラス
 那須市立栃木西中学校 4クラス
 那須市立栃木山中学校 1クラス
 那須市立立高林中学校 2クラス
 那須市立立高林中学校 2クラス
 那珂川町立小川中学校 2クラス
 日光市立藤原中学校 2クラス
 日光市立足尾中学校 1クラス
 日光市立大沢中学校 1クラス
 日光市立東原中学校 1クラス
 日光市立立七井中学校 2クラス
 益子町立田野中学校 1クラス
 益子町立田野中学校 1クラス
 市貝町立市貝中学校 1クラス

●奈良県

橿原市立八木中学校 3クラス

●富山県

射水市立大門中学校 1クラス
 富山市立奥田中学校 2クラス
 富山市立奥田中学校 2クラス
 富山市立奥羽中学校 2クラス
 富山市立芝園中学校 1クラス
 富山市立北部中学校 1クラス
 富山市立大沢野中学校 1クラス
 富山市立和合中学校 1クラス
 富山市立岩瀬中学校 1クラス

●福島県

いわき市立四倉中学校 3クラス
 いわき市立小浜第二中学校 1クラス
 いわき市立植田中学校 4クラス
 いわき市立平第一中学校 1クラス
 伊達市立桃陵中学校 1クラス
 福島市立福島第四中学校 1クラス

●兵庫県

神戸星城高等学校 2クラス
 兵庫県立日高高等学校 1クラス

●和歌山県

和歌山県立星林高等学校 1クラス
 開智高等学校 8クラス



梅風会だより

全国天満宮梅風会第五十三回総会開く
西高辻前会長を名誉会長に決める

全国天満宮梅風会（会長代行 橋重十九副会長）の第五十三回総会が六月十九、二十日の両日、東京の神田神社を主会場に約二百人が参加して開かれた。

十九日、集合地の湯島天満宮に正式参拝後、

神田神社に移動し、正式参拝した後、同神社文化交流館で総会を開き、平成三十年度の経過や収支会計報告などが行なわれた。また、三月末で退任された西高辻信良前会長（太宰府天満宮前宮司）を名誉会長にする緊急動議が役員会からなされ、了承された。なお、西高辻前会長の残任期間一年間を橋副会長（当宮宮司）が会長代行として務めるのは梅風会規約によるもので、次期会長・副会長については今後役員会に図り来年度総会で決める。総会后、前田利祐・加賀藩前田家十八代当主による「天神様と前田家」と題する講演に耳を傾けた。

翌二十日は、亀戸天神社を正式参拝し、その後江戸東京博物館を拝観。復元模型やジオラマの展示を通して、今や失われつつある江戸・東京の歴史や文化を学んだ。



北野天満宮講社理事会開く



北野天満宮講社（会長千玄室 裏千家大宗匠）の平成三十一年度理事会が四月四日午前十一時半から文道会館に約百三十人が出席して開かれた。

宮司挨拶の後、東奔西走中の千会長に代わって裏千家村上利行執事が会長名代として挨拶され、「講社の役員・会員の皆様方の多大なご負担により東廻廊の檜皮葺き御屋根工事が無事に完了しました。この後、西廻廊の御屋根工事などに取り掛かりますので引き続き皆様方の絶大なる支援をお願いします」との千会長のご挨拶文を代読された。

この後、議事に入り平成三十年度事業報告並びに会計報告、平成三十一年度事業計画並びに予算案など六件を了承し閉会した。

BS 京都第85団育成会総会

当宮に団本部を置くボーイスカウト京都第八十五団の平成三十一年度育成会総会が四月二十七日、境内のスカウトハウスで開かれ、育成会長の宮司が「スカウト数が減少しているが、スカウト活動は天満宮としても大事なものであり、引き続き頑張ってください」と挨拶。活動計画や予算案・決算報告などを了承した。

また、夕刻には御本殿で進進式が行われた。ビーバー隊からカブ隊へ二人、カブ隊からボーイ隊へ一人が上進した。また、ビーバー隊への新人隊員が二人あった。



天神さん
思い出写真館

千二十五年半

萬燈祭（昭和三年春齋行）に

際し影向松の植え継ぎが行なわれたが、この写真は植え継ぎ用の松を運ぶ松曳きの行列を撮らえた一枚である。尚、行列が当宮神苑内に入った場面と植え継ぎ



五日後に齋行された奉告祭の写真は社報十六号（平成二十九年十月発行）で紹介済みだが、これは神苑内に入る前、行列が京都市内を進行している珍しい写真である。

撮影日付は昭和三年三月二十二日。場所は今出川通寺町付近。「久邇宮多嘉王殿下より大宮御所前にあつた松が御寄進されて植え継ぎされることになった」もので、記録によると松が牛二頭によって曳かれたほか米俵や酒樽を曳く牛車などもあり、氏子・講社員ら総勢約千人が帯同したという。松曳きの行列は、河原町通を上がって今出川通を西進するコースで進み、途中白峯神宮で休憩をとった後、社頭に至っている。

今出川通に敷設された市電の軌道横を進む行列には巡査が付き添っている。商店には「たばこ」「クスリ」「ラヂオ」といった看板が掲げられ、九十一年前の京の様相が伝わってくる。



鎮守の杜や自然環境について学習

朱雀第四小学校三年生とホテル生育出前授業

京都市中京区にある朱雀第四小学校で六月十四日、三年生を対象にした恒例のホテル生育と自然環境保護の出前授業が行われた。

この授業は、朱雀小学校が毎年取り組んでいるホテル生育活動と環境保護学習の一環として行っているもので、当宮神職が学校へ赴き、北野天満宮境内に残された自然や環境保全の取り組みを紹介し、生徒たちと共に環境保護について学習し、今年は三年生約五十名が参加した。

朱四小学校校庭に作られた「いのちの庭」でホテルを自生させるために、ホテルにとつての良いい環境作りとは何か、自分たちが環境を守るために何が出来るのかなど、積極的な意見が出され、地域の環境を保全していく大切さについて話し合った。



神楽殿で篠笛奉納

玲月流初代の森田玲氏

玲月流初代の篠笛奏者、森田玲氏(あきこ)が六月二十三日、神楽殿で篠笛を奉納し、清らかな音色が参拝者を魅了した。

篠笛は、古くから日本に伝わる竹の横笛。森田氏は、篠笛の普及を目指し、演奏・指導・製作・販売をするとともに祭文化の調査や研究にも携わっており、文化庁芸術祭新人賞などを受け、京都市芸術文化特別奨励者にも選ばれている。



この日は、妻の篠笛奏者香織さんとのコラボや門下生十八人の演奏、さらには今春の「曲水の宴」で童子を務めた長女桜ちゃん(五歳)も大鼓演奏で加わった。

毛利ゆき子コレクション

社務所で三十五周年の発表会

服飾研究家で西陣和装学院学長の毛利ゆき子さんのブランド「毛利ゆき子コレクション」の三十五周年記念発表会が、四月六日から八日まで社務所大広間で開かれた。

毛利さんは、毎年初詣の際に当宮の楼門を飾る西陣系人形の監修を長年にわたり務められている。自身のブランドである「毛利ゆき子コレクション」の発表を毎年されており、当宮での開催は昨年に続き二回目。長男泰巳さんが社長の株式会社西陣輝光の「安治郎」ブランドの第十六回発表会との併催で、きものや帯など合わせて約三百点が展示され、初日から多くの来場者で賑わった。



毛利さんは「伝統を大切にしながらも常に新しいものを取り入れてきた。和装文化普及のため今後も頑張っていきたい」と話されていた。

府神青年会の「神主さんと行く神社探訪」

当宮で開催、十五人の学生が参加

京都府神道青年会(六人部是充会長)の「第四回神主さんと行く神社探訪」が六月十六日、当宮で行われた。

若い人たちに神社のことをよく知ってもらおうとの狙いで毎年神社を変えて開いており、京都府立大学や京都外国語大学などの男女学生十五人が参加した。当宮神職の案内で境内を歩き、御本殿や三光門などの由来について詳しく説明を受けた。史跡御土居「もみじ苑」では、青もみじの美しさを楽しみ、宝物殿では当宮所蔵の数々の宝物に見入った。学生たちは、御本殿に昇殿参拝し、神妙な表情で手を合わせていた。社務所大広間での質問コーナーでは、神社の後継者問題や神職の仕事、複数のお守りを所持しているも差し支えないか、最近の御朱印ブームについてどう思うかなどなど多岐にわたる質問があり、会員の神職が一つ一つ丁寧に答えていた。



正式参拝された皆様(敬称略)(四月〜六月)

四月	五日(金)	日本和装
四月	十日(水)	京都高齢者大校
五月	十日(金)	トワイライトエクスプレス
五月	十二日(日)	瑞風乗車と緑まぶしき京都
五月	十二日(日)	茨城県会議員森田悦男と共に
五月	十九日(日)	北野天満宮と伊勢神宮の旅
五月	二十日(月)	交通安全フェスタ
五月	二十日(月)	(スパーカー・ヘリテージ)
五月	二十日(月)	ギャザリング2019)
五月	二十日(月)	忠節天神神社
五月	二十一日(火)	岡村天満宮宮司 杉原神元
五月	二十四日(金)	住友林業世住会
六月	二日(日)	マリアズベビーズソサエティ
六月	五日(水)	太宰府天満宮宮司 西高辻信宏
六月	六日(木)	町田天満宮氏子会
六月	六日(木)	三重県神社庁度会支部
六月	八日(土)	真浦神社世話方
六月	八日(土)	勝川天神社奉賛会
六月	十六日(日)	神社探訪
六月	十六日(日)	(神道青年会教化委員会主催)
六月	十六日(日)	北野祭保存会・北野神輿会
六月	二十三日(日)	玲月流初代森田玲
六月	二十三日(日)	丙午会
六月	二十五日(火)	阿武野逢世 山口レイヤ 鈴江先子

挙式された皆様(四月〜六月)

四月	二十七日(土)	千葉 悠志・千秋	ご夫妻
四月	二十八日(日)	鳥越 尊・葵	ご夫妻
五月	四日(土)	丸山 俊介・奈津子	ご夫妻
五月	五日(日)	田中 秀幸・あゆみ	ご夫妻
五月	十二日(日)	小川 一茂・裕子	ご夫妻
五月	十八日(土)	赤木 力・渚	ご夫妻
五月	十八日(土)	高橋 大和・尚子	ご夫妻
五月	二十四日(金)	橋本 竜・はるか	ご夫妻
六月	九日(日)	後藤 翔・静香	ご夫妻
六月	十五日(土)	高田 真吾・未希子	ご夫妻

新郎新婦様、御両家の皆様のお末永いご多幸を、ご祈念申し上げます。

献詠 濱崎加奈子選

四月「塩竈」

人類が生命をつなぐ食物の

輝く塩よ塩竈の塩

潮光りこごぞ日本の宝殿と

塩かまど跡に海風の吹く

塩竈の花は五分咲き浦霞

かかる島より春の風吹く

塩釜のたきり水に浮くあふく

くめともつきぬ悲しみに似て

みちのくにまだき言葉は出でぬ我

はや塩竈は息吹こそすれ

塩竈に住まふ人らの笑み重ね

八重の桜に劣るべしやは

塩竈の花をたゆまず涙雨

風を強みてつひにこぼるる

六条の河原の院と聞く庭に

塩竈いづくうららに眺む

【評】歌枕として知られる塩竈の浦。源融が河原院で藻塩を焼いたと言われるように、はるか遠い宮城の塩竈の風情は都人の憧れであり、見たことのない景色を詠んだ優れた歌が多く残されている。今回は東日本大震災を思い起させる歌がいくつもみられた。震災後に実際に足を運んだときの景色が忘れられないというコメントとともに寄せられた歌も。言葉の力について改めて考えさせられる。

五月「葦」

高瀬川都にのぼる速舟に

葦立ちわたる声援の風

下町の小さき園に遊ぶ子ら

「令和の葦」に育てやすくすく

葦原は鳥のねぐらとなり夏の

訪れ近し轉りを増す

葦の辺に寄する流れを聞き添へて

身をも心も清らなるらむ

菅公は詩歌に優れ、多くの名歌を詠われました。室町時代には「和歌の神」と仰がれ、さらに柿本人麻呂と山部赤人と並んで「和歌三神」と称えられています。

豊葦原水穂国に新しき

令和の御世ぞめでたかりける

揺らぐ穂の風の次第にまかせては

よしもあしきもひともの草

【評】葦が身近なものではなくなっている。兼題として詠むことで改めて葦と人との関わりについて感じてもらえたらとの思いである。豊葦原水穂国とは日本のこと。豊かに葦が生い茂り、稲が穂を実らせる国という意。筆策のリードとして平安時代以来使われてきた、大阪・高槻市の淀川の鶴殿の葦も話題である。

六月「紐」

紐解けば絵巻は広く伸びにけり

大祖母妹の熱心な語り

おんぶ紐吾子は背中で泣き出した

パプリカ農家嫁は忙し

腰紐を結びて覚悟定まりぬ

いざ道場へ朝の静謐

おのづから絡まりたれどそののちは

解くも難かれ心ならずも

背の子は眠りたるらし負ひ紐の

俄に重る肩に掛かりて

紐紐をみとせ手に巻き誰そ彼に

逢ひたる君は忘るまじ人

【評】日常のこかしこに見られる紐だが、実際に現代において言葉として使われているものとしては、子供のおんぶ紐や着物の腰紐や組紐など、古くから使われているものになる。本を読む意として「紐解く」というが、巻物を紐で閉じていたから。紐が「絡まる」という性質を用いて比喩的に詠む歌も。

● 献詠奉納についての問い合わせは、北野天満宮献詠係までご連絡ください。



北野天満宮

重要文化財東西廻廊他 御屋根葺替ご奉賛のお願い

* 指定寄附金につき税制上の優遇措置を受けることができます。

◆重要祭典及び奉納行事等

半萬燈祭 千百年二十五年大祭 令和九年

萬燈祭 境内全での吊燈籠・石燈籠

献茶祭 各家元奉仕

伝統文化芸能神楽・舞楽・和太鼓・

献香・横綱土俵入り奉納他

◆主たる営繕事業

重要文化財東西廻廊他御屋根檜皮葺替

平成三十年の台風により廻廊の檜皮葺御屋根が捲れ上がった為、予定を繰り上げ、先ず東西廻廊御屋根の修復工事を行った。今年度は西廻廊の御屋根の修復工事を行う予定。

ご奉賛申込要領

工事費 三億六千万円

募財目標額 一億八千万円

◎お申込み方法

所定の申込用紙に必要事項をご記入頂きお申込み願います。

◎奉賛金納付方法

(一) 郵便振替

(二) 銀行振込

(三) 現金書留にて郵送の場合

(四) 持参の場合

私製用紙に奉賛金額(一括または分納の区別)・住所・氏名・電話番号等をご記入いただき、当宮宛ご送付下さい。

社務所または文道会館にて受付させていただきます。

一括又は分納の何れかの方法でお納め願います。

専用振込用紙にてご納付ください。

募財期間 平成三十年四月より五年間

◎指定寄附金

(財務大臣が指定し、告示する寄付金)

本年九月三十日までにご奉賛頂きますと所得税法第七八条第二項第二号により「寄付金控除」の対象となり、税法上の優遇措置を受けることができます。

◎ご奉賛頂いた方への特典

一、ご奉賛額に応じ記念品を贈呈いたします。

一、壹拾万円以上ご奉賛の方には感謝状を贈呈いたします。但し、記念品・感謝状の贈呈は当事業終了後となりますのでご了承ください。

一、特別祈禱として毎朝御神前にてご奉賛者の家内安全、学業成就、諸願成就を奉告いたします。

一、芳名を御神前に供し奉告いたします。

京都大学名誉教授

藤井 讓治

小堀甚兵衛奉納
「古画六曲小屏風（北野社頭図屏風）」

この屏風は、縦八〇・五センチ、横五一八・八センチの中屏風で、北野社の境内とそこでの遊楽の様子を描いている。そこに描かれた北野社本殿は、慶長一二（一六一七）年に豊臣秀頼によって造営された現在の八棟の本殿ではなく、また階の上に狛犬を配するなど、中世後期の社殿の様子が描かれている。一方、画中には近世初頭に流行した長煙管を加えた人物（写真）が描かれるなど、現在の本殿が完成する慶長二二（一六一七）年をそう遡らない時期の社頭の様子が描かれている。

この屏風は、屏風の裏面に、

古代北野御社殿御社地之図

一御小屏風

右奉納仕候也、



古代北野御社殿御社地之図
一御小屏風
右奉納仕候也
明治廿五年十二月廿一日
小堀甚兵衛
貴峯 卷

明治廿五年十二月廿一日 小堀甚兵衛

貴峯（花押）

との貼紙（写真）があることから、小堀甚兵衛貴峯という人物が、明治二五（一八九二）年二月二二日に当宮に奉納したものであることが分かる。一方、当宮の日々の日誌である「社務日誌」明治二五年二月二二日条には、

一 小堀甚兵衛より御宸筆壺軸、金地小屏風壺、茵ノ残切

壺巻奉納セリ、神饌料式円奉納二付 神饌六台調進し、

宮司殿も出勤申、

とあるように、この屏風とともに、「御宸筆壺軸」「茵ノ残切

壺巻」が奉納されたことも確認できる。

このうち「茵ノ残切壺巻」は何れを指すのかいま明らかにしえないが、「御宸筆壺軸」は、当宮の宝物台帳に「経切一幅 傳云御真筆、元当社所蔵ナリシニ伝転セシヲ以テ明治

二十五年十二月二十一日、小堀

甚兵衛寄附」と記されているも

のである。

奉納者小堀甚兵衛は、この他

にも明治一四年には渡宋御神影

一幅をはじめ、御神影、御神号

等を奉納されている。では、こ

の小堀甚兵衛なる人物はどのよ

うな人物であったのだろうか。

次号で、奉納品とともに、その

履歴等を述べることにする。





紅梅殿結婚式

日本文化の発信地、 紅梅殿からはじまる家族の日

貞観元年（八五九年）菅公が十五歳の元服の折、母君は菅公の前途を祝し、『久方の月の桂も折るばかり家の風をも吹かせてしがな』の和歌を詠み励まされました。我が国で最初に家風を表されたのが、菅公の母君であったと伝えられています。立派な家風をもった稔り多い新たな家庭を築かれますようにとの願いをこめて、菅公邸宅ゆかりの紅梅殿での神前結婚式から新しい「家族」がはじまります。



天神様の秋まつり

ずいきまつり

瑞饋祭

●由緒

京都の代表的な秋祭りとして知られる瑞饋祭は、村上天皇の御代にはじまる勅祭「北野祭」が起源と伝えられています。年に一度、御鎮座の往時に思いを致し御神霊を「お迎えする」ことで、氏神としての天神様を改めて意識し感謝する心が育まれます。

十月	
一日	神幸祭 午後一時 行列出発 御旅所到着
二日	午後四時 献茶祭 (表千家宗匠奉仕)
三日	午後三時 甲御供奉饗 (七保会奉仕)
四日	還幸祭 午後一時 午後四時半 行列出発 本社到着
五日	午後三時半 后宴祭 (八乙女舞奉納)



七五三

もつで 詣は、知恵の神様

北野天満宮へ

七五三詣は、子供の成長に感謝し無事を祈り、神社にお参りする大切な人生儀礼です。子供は国の宝であり、親にとってもかけがえのない宝です。北野天満宮で七五三詣をし、子供の成長と無事を祈るとともに、さらに天神様の御加護で知恵を授かりましょう。ご家族お揃いでのご参拝をお待ちいたしております。

★七五三詣の方は、史跡御土居もみじ苑入苑優待あり

- 一、受付日 十一月中、毎日受付いたします。
※但し、十一月二十三日（土）、十一月二十六日（火）は、祭典のためご祈禱を中断する時間帯がございますのでご了承下さい。
※尚、十一月以外の月も、事前にお申込み下さい。
- 二、七五三詣初穂料
 - 一人 五千円より
 - 二人 八千円（兄弟姉妹に限る）
 - 三人 一万二千円（兄弟姉妹に限る）
- 三、授与品・記念品
知恵守、千歳飴、祝い笹、ディスプレイの学用品セット
- 四、案内状持参の特典
特別授与品の「勾玉」を進呈

御縁日 境内ライトアップ



毎月25日は天神さんの御縁日。夜9時まで境内特別ライトアップ！

定期購読のお知らせ

- 定期購読 1,000円（1年分）季刊・年4回発行
- 学校・教育機関でお申込みの場合は無料発送。
- お申込み・お問い合わせは、社務所まで。

今昔マップ



平安京

当宮は平安京の乾に位置し、古くより天のエネルギー、パワーの働く北野の地に祀られています。

平安京の内裏、大極殿北西に位置し三光門の真上に北極星が輝き、天子様が北極星を拝する聖なる社でした。

平安京の大極殿（遷都より600年の間）は今の京都御所の西にありました。

紙屋川、堀川に挟まれ、すぐ北西に当宮が建てられています。

- 平安京（大内裏）
- 大極殿（室町時代迄の平安京）
- 京都御所（室町時代以降の平安京）

